

1967.11.5.

VOCALIZE NO.97

星 吉野 弘

あまりに明るく
すべてが見えすぎる昼。
かえって
みずからを無(な)みするものが
空にはある。

有能であるよりほかに
ありようのない
サラリーマンの一人は
職場で

心を

無用な心を

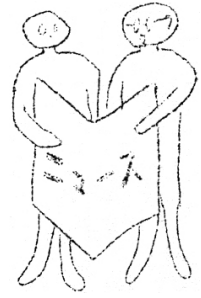
昼の星のようにかくして

一日を耐える。

ニュース・PR版	2・3
演奏会だより 浦部くみ子 (18)	4
コーラス	5・6
四〇〇字コーナー	4・11
SS号アンケート	7・8
みんなのうた「知りたくないの」	9
特別寄稿：新沢 宏 (17)	10
プロフィール：三輪貞寛君 (15)	11
プロフィール：池村久美子さん (18)	12

十一月のおもな音楽会

- ◇ウィルヘルム・ケンプ、ピアノ演奏会
二日午後六時半 愛知文化講堂
千円～千五百円
- ◇ミルバ、リサイタル 二日午後六時半
名古屋市公会堂 五百円 (労音)
- ◇金城学院大学管弦楽団第二回演奏会
9日午後六時半 中電ホール 二百円
- ◇ウイーン交響楽団 9日午後七時 愛
知文化講堂 二千円・三千円
- ◇ヤコフ・フリエール、ピアノ・リサイ
タル 21日午後六時半 愛知文化講堂
五百円 (労音)
- ◇デ・ラ・マーサ、ギター・リサイタル
28日午後六時半 中日劇場 七百元
・千円・千四百円 (音協)
- ◇トリオ・ロス・パンチョス演奏会
28日・29日午後六時半 名古屋市公
会堂 四百円 (労音)
- ◇ステファンスカ、ピアノ演奏会
30日午後六時半 愛知文化講堂
四百五十円 (民音)
- ◇東京バレエ団公演「ジゼル」全幕
30日午後六時半 名古屋市公会堂
五百七十円 (民音)



この欄は、AKC関係者のみんなの近況を知らせるためのものです。誰のことでも、お知らせ下さい。

藤野さん 十一月に帰国

藤野絢さん（十三）は、十月二十日にロンドンをたつて、お友達と旅行しながらシベリア経由で、十一月十八日に日本に帰ってこられるそうです。（詳細はコーラスの欄を見てください。）

〔結婚〕

◇十二期の鈴木茂さんは、岡崎みよ子さんと結婚されました。式は十月十二日、中むら松楓閣で行われました。お住まいは千種区小松町×××、電話×××

〔就職〕

◇横橋貞雄さん（十二）は、寺沢法律事務所へ勤めておられます。

◇池谷芳子さん（十四）は、お仕事をやめられて、目下、花嫁修業中とかです。

〔電話新設〕

◇水野公子さん（十三）のお宅にこのたび電話がひけました。×××

〔下宿生活〕

◇中野君（十七）は九月から下宿しました。

〔電話番号変更〕（判明分）

◇能仲 徹君（十五） Ⅱ自宅Ⅱ×××
◇中野和明君（十七） Ⅱ自宅Ⅱ×××
◇池村久美子さん（十八） Ⅱ呼び出しⅡ×××

〔名簿訂正〕

67年度の会員名簿に一部誤りがありましたので次の如く訂正いたします。

◇藤井容子さん（六） 三萩野町↓三萩野新町

◇石井よし子さん（九） 地番変更

◇梅田昭彦君（十五） 阿久比大字↓阿久比町大字

次の方移転先が不明ですから、編集部まで御知らせ下さい。

◇大津賀まき子さん（六）

◇鈴木知子さん（七）

◇白木倭子さん（十五）

お知らせ

十二期の旭だあす会のつどいが十二月十日一時半から、喫茶グラハムにて行われます。是非ともご出席下さい。（詳細は鈴木道まで）



愛知県合唱コンクール開かる

県合唱連盟、朝日新聞主催の第七回愛知県合唱コンクールが、十月二十二日、名古屋学院で行われ、ヴォーカライズ関係では、一般の部一位にノイエ・ゲブルト、第二位に名大グリーンハーモニー、大学の部一位に名工大合唱団が選ばれた。また総合一位にはノイエ・ゲブルトが選ばれた。中部大会は十一月三日、三重文化会館で行われる。

委員会だより

十月十五日、東新町の喫茶グラハムにおいて委員会開かる。当日の出席は、新沢、佐藤隆、小出富、浦部の4氏と少のうございましたが、67号のこと、秋のこと、いのことなどを熱心に話し合い、それから名古屋まつりで賑わう街に出ていきました。

第十九回学校祭催さる

旭丘高校では、十月六日から十日まで恒例の学校祭が催された。文化祭は七日八日の両日で号外で紹介されたプログラムにもとづいてAKCの発表が為された。なお両日で、三輪（十五）、石原（十五）、加藤（十五）、下条（十七）、立花（十八）、能仲（十五）氏ら多数の会員が旭丘へ押しかけた。

みかん・かき狩りにおいでください

ーヴォーカライズ秋のハイキングー

P R 版

ヴォーカライズ秋のハイキングは、会員の希望もあり、秋の味覚を楽しもうということで多度山のみかん、かき狩りをするこ
 とになりました。左記の要領で
 行ないますので、御家族連れで、
 あるいは友だちを誘って気軽に
 御参加下さい。なお。当日は集
 合場所にヴォーカライズの目印
 になるようなものを用意します
 ので、「委員の顔をよく知らない
 から」などと言わないで、おい
 てください。

記

時 十一月十二日(日)

午前八時三十分

近鉄ビル正面のロビ

ー(階段を降りたこ

ころ)に集合。

所 多度山

費用 交通費・入園料

を含めて一〇〇〇円

昼食は各自で用意

帰りは午後四時頃名古屋

屋着で、解散の予定

雨天の場合は十九日

(日)十九日も雨のと

きは中止



お願い三つ

ヴォーカライズ委員会から皆さ
 んにお願いが三つあります。

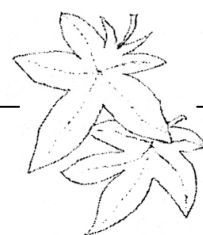
第一番目は、葉書の返送です。め

んどうかもしれませんが、今回は特に、
 一〇〇号記念号で企画している会員全部
 のプロフィールを作るのに是非とも必要
 なものですから、必要事項を記入して絶
 対に返送してください。

次に会費のことです。会員の皆さんから
 ボツボツ送っていただいておりますが、

一〇〇〇円以上滞納されている
 方もかなりおられます。今でも
 委員のたてかえや、前払いをし
 てくださる会員の好意によつて
 かるうじてやりくりしている有
 様です。会費未納の方はどうか
 なるべくはやく納めてすがすが
 しい気持ちで新しい年を迎えよう
 ではありませんか。

最後に Vocalize に積極的に投稿
 してください。毎号同じような
 企画や、変わりばえのしない執
 筆陣では、Vocalize への興味も
 っすれがちになるとおもいます。
 五期から十九期までの中広い会
 員の投稿を歓迎いたします。原
 稿の内容は全く自由で、日頃考



来たれ！クリスマスのだいへ

えていること、音楽会の感想
 文、読書感想文、機関紙への
 注文、新しい企画の提案、み
 んなの歌のリクエスト、四〇
 〇字コーナー、友へのたより
 など何んでも結構です。
 毎年のことながら今年もま
 た、カレンダーは最後の一枚
 ないし二枚がかかっている季
 節になりました。これも毎年
 のことながら、クリスマスの
 だいへがもうすぐやってきま
 す。

十二月二十四日(日)の午
 後一時から旭丘高校音楽室で
 在校生といっしょにゲームを
 したり歌を歌ったり、かくし
 芸をしたり、贈り物の交換を
 したりして、楽しいひととき
 を過ごそうと思います。

昨年は卒業生を中心に二十名
 程が集まりましたが今年は何
 んど多くの人
 が集おうでは
 ありませんか。
 なお贈り物は
 五十円度のも
 のを。



音楽会だより

名大グリーン・ハーモニー、 愛教大混声合唱団ジョイント・コンサートを聴いて

浦部くみ子（十八）

名古屋大学グリーンハーモニーと愛知教育大学混声合唱団（岡崎）とのジョイント・コンサートが七月二十二日午後二時半、中小企業センターホールで開かれました。名大グリーンは今年一月に発足したばかりの合唱団で、中心となっているのが内藤君（十八）ということに対する興味と、その伴奏者が鈴木美（十八）ということの楽しみが、私をこのジョイントにとびつかせたのですが、名大グリーンに関する限り、想像以上に楽しませてくれました。

愛教大は、子供の歌9曲、ミュージカル5曲のプログラムでした。名古屋分校合唱団は少人数ながら美しいハーモニーを聞かせてくれました（今年三月）ので、今度の岡崎の合唱団にも期待をかけていたのですが、子供の歌で見事に裏切られました。全体に雑な投げやりな感じなのです。「青い目の人形」や「赤い靴」では

淋しさを、「もんく」では面白さを、「めだかの学校」ではかわいらしさを、「村のかじや」や「靴がなる」ではかるやかさを、そして全部の曲に、もっとやさしさをこめて歌ったなら、技術的な問題はあったとしても、楽しいステージになったはずと残念に思いました。名大グリーンのプログラムは、愛唱歌7曲、組曲「焰の歌」より3曲でした。正直に言って上手な合唱は全く期待していませんでしたが、最初の曲「森に別れる歌」、二曲目「ソーラン節」と進むにつれて、意外（？）にもソプラノが澄んだ声を出しているのに気付いたとき嬉しくもなりました。「灯」では久しぶりに立花君（十八）の美しい声を聞くことができました。合同演奏は、ハイドン作曲のオラトリオ「天地創造」よりNo.10「堅琴を弾き歌え」No.13「神は天のさかえかたり」の2曲でした。No.13はAKC時代に歌った曲。しかも内藤君の指揮、鈴木さんの伴奏とあっては、合唱を聞くことよりも、なつかしさの方が、先に立ってしまいました。二時間余にわたるコンサートの最後の幕がおりるとき、創立後わずか六ヶ月で、このジョイント・コンサートを開いた名大グリーンハーモニーに心からの拍手を送ったのは、私だけではなかったことでしょう。

ー おわり ー

よんひやくじにおなあ

喫茶店礼讃



佐藤隆彦（17）

よんひやくじにおなあ

日本の喫茶店は世界一なんだそう。日本中いたるところにあつて、特に都会の中心には実におびただしい数がある。そして、安くて、いつまでも追いだされず、ジャズからタンゴ、歌謡曲、はてはバツハからストラヴィンスキーまで万事OKで、その上、便利で典雅で洒落ていて、しかも清ケツ（？）なオレフキなるものまで出してくれるという日本の喫茶店は、外国人にいわせれば、まさにこの世の天国だそう。また最近ではコーヒー代だけで芝居まで見せてくれるところもある。アメリカではコーヒーを飲みたいと思ったら、ドラッグストアへ行つて、飲んだらさつと出てくるしくみになつていて、喫茶店なるものは殆どない。あつても非上品で非芸術的、殺風景なものとか。欧州には、あるにはあるが、日本ほどではないらしい。まさに、日本の喫茶店、バンバンザイである。（これだけほめたんだから、喫茶店組合から当分コーヒー代口ハにしてくれないかしら。）

Chorus



長谷川厚子 (十二)

十一ヶ月の娘啓子にふりまわされています。ピアノを習わせて素質がありそうなら声楽をやらせて、大学はどこへやろうか etc. 親の夢は果てがありません。一日起きている間は、じっとしていませんので、大人達の方が疲れてしまいます。

水野 公子 (十三)

器楽クラブの練習に、そろそろ熱を入れようかという。ところですが夏休みも半ばを過ぎ、二学期の準備も思っている今日この頃です。休みがもつと長くて、必ず家におれるといのですが、なかなか行事が多く、家にゆつくりおれません。皆様、残暑きびしい折、お体に気を付けて下さい。

浅井 幸三 (五)

◇AKCと二十年史の資料に、拙著「フ

アン気質」を上げたけれども、読んでもらった人が少ないので、印刷したものかどうか、いま考えています。なにしろ四年も前のノートなので、時間的なズレもあるし、といっているまさら書きなめる気にもなれないので弱っています。とはいえ、読んでくれた人は、おもしろいといってくれたので、そう悪い出来ではないと思うのですが…。

◇休みが多いので、毎日がどうしてすごしているものかと、時間をもて余しているこの頃です。必然、当然のように飲み歩くはめになり、月給分ではとても追いつきません。何かいいアルバイトを紹介して下さい。

足立 靖子 (十五)

八月十九日から二十一日まで、すみれの短大の美術クラブが、美術館で展覧会、みて下さった方？きつといないわね。

私？ 私はマイペース。生徒にまけないよう家で製作。機織りや染色に興味のある方、よろしかったらいつでも私のうちへいらしてくださいネ…。

クラシックな道具がいっぱい。その中でこのハガキを書いています。

多田 朋子 (十三)

夕暮れ すすき 虫の声 風…の中に、小さな秋を見つけるこの頃です。

土曜日の夕暮れ、東山の一万歩コースを歩きました。涼しくて緑濃く、ご機嫌な散歩道でした。

でも、日が暮れかかり、半分程で帰ってきたのが残念です。(決して年のせいではありません！)

ワカイミナサンニ オススメシマス。アサハヤクノホウガ モットイイデショウ。

磯貝 文江 (十五)

近況…去りゆく夏休みをおしみながら、

毎日すごしています。

予定…九月から、新学期がはじまります。

三輪 貞寛 (十五)

来月号からは、期日までに必ず間に合うようにします。今回は失礼しました。

加藤幽香子 (五)

近況…三月の終わりと五月の終り迄入院してやっと男児出産しました。名前は昭浩(アキヒロ)。未来のお嫁さん候補、物色中。

伝言：先日鳴子団地の強盗騒ぎの犯人とは全然関係ありませんので、御承知下さい（ウチのゴティシユより）

近藤磨理子（五）

夏休みもおわり、全員出かけて行きました。休み終りにチョッピリいそがしい思いをしました。

岡崎 美彦（十七）

九月九日午後十一時四十三分。於松本駅構内。

一週間のグリークラブ合宿を終り、本日松本演奏会も無事にすんだ。今から名古屋によつて、すぐ京都へ行く。

藤野 絢（十三）

お元気でいらつしやいますか。

こちらもちょうど、ずい分御無沙汰になりましたが、まだヴォーカライズは健在なのだろうと期待しています。ホリデイで、スコットランドにやつて参りました。小さな美しい所です、十七日にロンドンに戻り、十月二十日にロンドンを発つて、友人と二人旅行しながら、シベリア経由で、十一月十八日に日本に着

くことになりました。九月からはパリに行き、半年程住むつもりでしたが、色々考える事もあって、一応帰国に決めました。又機会をねらつて出て来ることを楽しみにしています。（Edinburghより絵はがきにて）

高田 靖子（十）

御無沙汰してしまいました。このはがきいただきましたのは、確か暑い暑い時でしたから。いつの間にか、虫の音もおろぎだけになり、心なしか淋しげにきこえます。

なれない生活や、人間の干物が出来そうな暑さに、すっかり参ってしまい、真夏の夜の夢などみるどころではありませんでした。このごろになって、やっと息をふきかえしたといったところ。夏のあとしまつと冬の支度と一度にかかえこんで、困っているところです。娘も二才三ヶ月半、なまいきになって来ましたが、毎日ゆかいなことばかりです。

小出富士夫（十八）

秋も深まり、柿も赤く野山を色づけるころになりました。秋の大学祭もはじまり、前夜祭、文化祭フェスティバル、後夜祭と歌唱指導、フォークダンス指導等、

忙しくがんばっています。この一ヶ月、週一〜二日名古屋と津の間を往復し、東京へも行ったりと、週末もちつとも落ち着けません。たまには一日中ゆつくりとねていたいこのごろです。

新沢 宏（一七）

近況：九月一日〜十四日 刈谷高校で教育実習

十月九日〜十三日 定期考査

十月十九日〜二十一日 ゼミナール旅行で東尋坊・金沢市内・那谷寺・永平寺へ行ってきました。

十一月五日 Vocalize 97号印刷

最近読んだ本で印象に残っているもの

「現代の神話」B・ダンハム著

「忍者武芸帳」白土三平著

「科学・倫理・政治」セント・ジェ
ルジ著

十月下旬に朝日新聞夕刊に掲載された、ベトナムの民衆「戦場の村」を読んで感動しました。あの記事を読めば南ベトナム解放民族戦線の言い分が正しいのか、アメリカ政府の言っていることがもつともなのか国民は即座に言っているのけることができると思います。

宣伝：つどいに参加しましょう。

鈴木 道郎 (十二)

・出張所へ出て七ヶ月、どうにか星ヶ丘の空気に染まり、元気にやっています。来年五月、東名高速道路の一部開通に伴ない、市内とインターチェンジを結ぶ新しい道路の建設工事が急ピッチで進められています。私も及ばずながら、猪高町の上社なるところで工事の監督にあたっています。田ンボを埋めて道路にする仕事と、橋をかける仕事です。街のまん中ですると違って、他の交通を気にしなくてもよいので、それだけでもラクチンですが、落っこちない橋をかけなければならぬので頭を痛めています。来年四月には、東山公園―東名古屋インターチェンジ間は、幅員40m 歩道幅員4.3m 往復の車線の高級アスファルト舗装の道路が完成する予定です。

・最近のヴォーカライズ、なんだかバラバラに分解してしまった感じです。もともと、今、なにかやらかそうとするファイトもありますが、やっぱり、どうかしなくてはいけないんでしょうか。原紙を切るたびに、印刷機を動かすたびに、なにか、むなしいくらかえしをしているだけのようには思えるのです。それとも、私のヴォーカライズのとらえ方が、まちがっているのでしょうか。

アンケート

夢と旅

Q1…真夏の夜の夢、あなたの見たすばらしい夢を書いて下さい

Q2…あなたの推薦する旅行

Q3…「AKC二十年史」に対する御意見、御希望

水野 公子 (十三)

- ① このところ留守を預かっているため、夢どころではありません。何か安らかに眠れる方法の夢でも見ようかしら。
- ② 裏磐梯、特に五色沼。五色にはなっていないかったようですが、それぞれの沼の色は夏の暑さを忘れさせてくれます。
- ③ 私の入学する前に、こんな苦労を重ねられたということがわかって、大変興味深く読みました。

長谷川厚子 (十二)

- ② 何処か近い所でよいが、子供連れで、又奥様、旦那様も一緒に行ける様な旅行。

浅井 幸三 (五)

- ① 「仕事の鬼」なので、ほとんど毎日のように仕事の夢を見ます。それもうまくいかなくて、冷や汗を流しているところばかり…。たまには、きれいな女性とデートする夢でも見ればいいのに、気がきかないつらありやしない。ぼくは起きているときの方が、夢らしい夢を見るので、真夏の夜の夢」というタイトルからはずれませんので、ここでは紹介いたしません。

- ② もう何「年？」も自分で旅行をしたことがないので、とてもとても推薦できるプランなどありません。そのうち新婚旅行するだろうと、うがった見方をすると仲間もいますが、そっちの方もまだまだで、ご期待にそえそうもありません。
- ③ よくわかりません。自分の書いたスタイルでいいのかどうか迷っているのです。でもなかなかむずかしいものです。第二回からの筆者に大いに期待しています。

足立 靖子 (十五)

- ① 真白な真珠になった夢。すばらしいでしょ。コバルトの海に入ってたのよ。
- ② 日本を出ること！着のみのままであらうとゆくの…。旅は私の一番好き

なこと、たくさんありすぎて…。

多田 朋子 (十三)

③ 大変面白い深く、何度も読ませていただきました。私達に比べて、何かとめぐまれていなかった環境にもかかわらず、多方面に活躍された諸先輩に対し、敬意と音楽を通しての親しみを感しました。

中野 和明 (十七)

② LSDによる幻覚の「旅」。

我々、それを服用することにより、見えるはずのないものが見え、聞こえるはずのないものが聞こえ、起こりうるはずのないことが起こる世界に行けるのである。

現在の社会に大いなる不備を抱くものはLSDの「旅」に出かけようではないか。

磯貝 文江 (十五)

① 「素敵な男性と、静かな湖畔を散歩していました。」現実とあまりかけはなれていて、夢からさめた後はがっかりしました。
② 特にありません。

③ あまりの名文でうっとりしました。

できれば、浅井さんがブーツとつづけて書いてくださると最高でしょうが…。途中で切れないで続くよう祈っています。

三輪 貞寛 (十五)

③ 何かデッサンことをやりたいね。何かトンデモナイようなことはないかな？

加藤幽香子 (五)

① 目下、夢を見る暇もない程忙しい日夜なので、あしからず。

② 裏磐梯、白馬。アアー、コブ付きでなく二人だけでもう一度行ってみたい。

近藤磨理子 (五)

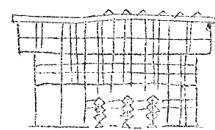
② 旅行だいすき。秋の高原の旅などいいが。

岡崎 美彦 (十七)

② 国外 ①月旅行 ②南極へ ③④がなくて⑤にイースター島
国内 ①能代↓弘前を五能線のドン行でゆっくり回りたい(推薦ではなく希望) ②越前岬(水仙の咲くころ) ③

(合宿好きの人々に) 犬吠埼でネギを食べる旅行(チョウシ(銚子)はずれでフシがない。
③ 興味深く読んだ。

お願い



十周年記念号に同封いたしましたパーティーの写真のうち、スナップ写真だけは、一枚につき代金五十円を送っていただきたいと思います。送金の方法はどんな方法でも結構です。「写真ははいつていたけれども私はいらない」という人は写真を送り返してください。

去る十一月三日に三重県文化会館で、第三十二回中部合唱コンクールが行われ大学の部では、ヴォーカライズの会員とはつながりの深い名工大合唱団が、一般の部ではこれもヴォーカライズの会員と関係の深い混声合唱団ノイエ・ゲブルトがそれぞれ優勝しました。共に二十三日に東京で開かれる全国大会に出場します。

みんなの歌

知りたくないの

なかにし 礼 作詞
ロバートソン 作曲



あなたの過去など
知りたくないの
済んでしまったことは
仕方ないじゃないの
あの人のことは
忘れてほしい
たとえこの私が
聞いても言わないで
あなたの愛が真実(まこと)な
ら
ただそれだけで
うれしいの
あゝ愛しているから
知りたくないの
早く昔の恋を
わすれてほしいの

みんなの歌の御希望曲を、どしどし
編集部までリクエストして下さい。



特別寄稿

教育実習報告記 黒板に背を向けた 二週間

新沢 宏（一七）

九月一日から十四日まで県立刈谷高校で、教育実習をしてきました。教科は「政治・経済」を担当して三年生を五クラス受け持ちました。通勤に片道一・五時間を要し、起床六時帰宅午後七時過ぎの少々きびしい生活でしたが、実習そのものは、期待通りの楽しいものでした。

それでは実習の最後に担任のクラスの生徒に書いてもらったアンケートをもとにして、二週間の教生生活がどんなものであったのかをお話いたします。

得てして、教生の先生方は教壇の上でどぎまぎされてこちらがハラハラするような授業が多かったのですが、貴方は肝ったまがすわっているのかずうずうしいのか実に落ちついて愉快に講義をなさいました。

実習に行く一年以上前から教室で教えている自分の姿が眼前に浮かんできるところでしたので、授業は一時間目から冗談をまじえて、楽しくスムーズに運びました。

ちよつとおもしろい冗談などを言うときに、こちらがまだそのおもしろさをわからないうちに先生が自分笑いだしてしまっているのでこちらが笑う時がなかった。

林家三平のように「そこのお嬢さん、もつと笑ってください」などとは言いませんでした。賀、無意識のうちに笑っていたらしく、「ユーモアのセンスに欠けるのでは……」「落ちつきが足りないのでは……」などの意見がありました。

先生のあの笑い顔は一〇〇ドルに等しいと思います。

容ぼう、姿からしておおらかな感じがするが、それは特に先生の笑いからはつきりする。

Vocalize 90号のプロフィールの写真を出して一〇〇ドルの笑顔をとくと御覧あれ。

水泳大会の時の応援は若々しくて

大変身近に感じられました。

水泳大会の日の観覧席でのひとこま。

新沢（担任クラスの生徒に声援を送る）

「タケヒローガンバレー」

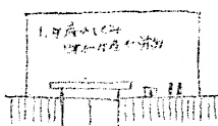
多くの横にいた生徒「先生が大きな声を出すとき、みんながこちらの方を見るのではありませんからやめてください。」

昼食のとき、教室に弁当を食べに

くるとはおそれいました。毎日昼休みに弁当とお茶を教室に持って行つては、生徒といっしょに食べながら、話をしたり、名簿を読んで名前を覚えてたりしました。麻雀の誘い・恋愛の相談も受けました。

紙面の都合上、この程度のことしか書けません。教育実習のおおよその様子はわかっていただけたと思います。一口でいえば楽しい二週間でした。しかし、いかに多くの生徒が教師との心のつながりを求めているか、そして現実にはそれほど遠いこと、受験体制のために高校教育がいかにゆがめられているかということも痛切に感じました。クラスの半数が0点を取るようなテストが行われ、授業前後に一時間ずつ課外授業が行われ、生徒は抵抗もできず、頭は丸刈りで黙々と家と学校の間を往復するのです。

わずか二週間の実習でしたが、せつかく仲良しになりかけた生徒たちと名残を惜しみつつ藤村の惜別の歌をあとに刈谷高校を去りました。



プロフィール

ヴォーカライズ十五期の三輪
貞寛君を紹介します。

身長一六四cm 体重五五kg

七・三に髪を分け、丸顔で細く
あけた目にメガネをかけ、見る
からに福々しい感じの男である。

A K C時代彼は金取り役(会計)とし
てために働いていた事を思い出す。我々
の雀の涙程の小遣いの中から情容シヤな
く取りたて、その職務に忠実なる事。実
に見事であった。

彼は無類の音楽好きである。繊細な感
覚と豊かな音楽性の持ち主でA K Cでは
コンダクターとしても活躍した。柔らか
な彼の指揮が印象に残っている。大学に
入ってからも混声合唱団(テナー)でこ
れ又「会計」役をあずかり信望も厚かつ
た。

「未だかつて君の怒った顔を見たこと
がない。」と彼はよく人に言われる。真に
そのとおり温厚で、誠実で、いわゆる「真
面目人間」は彼にピッタリあてはまる。彼
は人当たりが良く従って周りに敵を作ら
ない。そして努力型であり行動力もある
。と並べてきたが、要するに「真面目
な好青年」である。現在教員として、奉
職第一歩という所であるが、彼には教員
という仕事にまさるにピッタリという感じ
がする。現在の心境を聞いてみると「よ

真面目な好青年 三輪貞寛君 (15 期)

シックスシリーズ
(78)

三輪貞寛君 (15)

写真はこの欄におはりください。
なお写真は都合により次号に同封い
たします。

く遊んでいるし、学校の給食がうまいね」
だそうである。もう一つ心理学のカウン
セリングの研究に頭をつつ込みかけてい
る。最近どうやら仕事にもなれてきたよ
うで来年頃からヒマができたらまた歌い
たいということなので「コール・コラー
レ」等は勧誘するとよいし、ヴォーカラ
イズでも中心になつていつて欲しい人物
である。

愛知教育大学理科(生物専攻) 卒業
名古屋市立穂波小学校勤務(三年生担
任)

趣味 合唱 食べる事 ピアノ(バイ
エル)

特技 運転免許、教員免許(四枚?)
珠算二級、十六ミリ映写の免許

400字におま

合唱団
コールコラーレ
の近況 No. 2

新沢宏(17 期)

400字におま

合唱団コール・コラーレのその後の活
動の状況をお知らせします。九月までは、
丸田町の河合音楽教室で木曜の午後六時
から練習していましたが、時間が遅い為、
団員の勧誘に限界があると考えましたの
で、十月からは、瑞穂区名鉄堀田駅前の
若草幼稚園で、土曜日の午後二時半から
五時まで練習しています。曲は、片山敏
彦作詞、磯部俣作曲の混声合唱曲「こど
もと笛」、メンデルスゾーン作曲「三つの
民謡」をはじめ、「たのしいね」「手のひ
らに太陽を」などを歌っています。団員
はまだ二十名そこそこですが、練習日時
の変更などにより今後団員の大増の増加
が期待されます。十月十四・十五日は、
秋のレクリエーションを岐阜市三田洞で
行ないました。雨あがりのお寺の庭で、
合唱、輪唱、斉唱と次から次へと陽気な
歌声が響きました。日が落ちるとさすが
に肌寒く、山にかかった十日の月をガラ
ス越しに眺めながらの夕食も、楽しいも
のでした。

プロフィール

情熱の人

いけむらくみこ

池村久美子さん

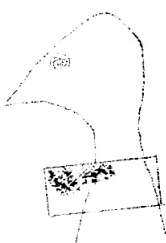
(十八期)

池村さん。通称池さん。彼女はこの十月で二十才になります。はたちになるという事も悪い事もいろいろあるようですが、果たして彼女の胸の中はいかなるものでしょうか。

池さんは旭丘を卒業すると日本郵船に入社し、豪亜課というところにお勤めです。昨年の春の入社当時には、いろいろお仕事の愚痴も聞きましたが、このごろは、オフィス・レディーも板についてきたという感じで、忙しいお仕事もスイスイと片付けているようです。

池さんといえ、まず誰でもほっそりしてもの静かな人を思い起こされるでしょう。確かにそうです。でも反面あの細い体のどこからと思われるような、エネルギーギッシュな面もあります。特にスポーツをしている時など、ものすごい気迫を感じます。そして、彼女の心の中にもそういう激しい情熱的なものが燃えているのですが、普段はそれを感じさせないところに彼女のよさがあります。

池村さんは、今も書いたようにとても



スポーツ好きです。すばらしく運動神経がよくて会社に入ってから、時々暗くなるまでテニスをしたり、卓球をしたりしています。また先月には、バレーボールの試合で、東京やら神戸までも遠征して来たとのこと。実にタフなことと、感心させられます。今の彼女にとって、会社は仕事の間であり、スポーツの場であって毎日をとっても楽しく送っているようです。

とにかく、池さんはいい人ですよ。友人として誇りに思っています。まだ彼女を知らない方は、機会があったら是非彼女とお友だちになってください。(S・M)

Invention

◆秋も半ばを過ぎてから、台風2号が襲来して、気象庁の予報が見事に的中したわけですが、水不足の地方では、「恵みの雨」災害のおきた地方では「恨みの雨」とかくこの世はままだらぬ。

◆今回はPR版などもうけて、お知らせをみんないっしょにめんどろみしました。なおAKC二十年史は執筆者の都合により次号に掲載いたします。

◆秋のハイキングはみかん・かき狩りです。食欲の秋をいっしょに楽しもうではありませんか。前評判が非常に良くてこの分でいくと団体割引を使うことになるかもしれません。御家族連れ大歓迎！気楽に誘い合わせておいでください。

◆これから暮れにかけて多くの演奏会が催されますが、演奏会に行かれた時は、感想文を気軽に御投稿ください。この機関紙を会員一人一人のものにしていくではありませんか。

◆日中と夜の気温差が十度を超える日が続いておりますが、かぜを召さぬようにくれぐれも御注意を。

◆サテ、庄内川の川原でも散歩して、虫の音(ね)、百舌鳥の声を聞いてこようかな。

(新沢 宏)

AKC

じゃあなる おぼ えいけいしいーぼおがらいず

1968. 3. 10

VOCALIZE no.98

Vocalize 98 号 もくじ

知るや君

こころもあらぬ秋鳥の
声にもれくる一ふしを

知るや君

深くも澄める朝潮の
底にかくるる真珠を

知るや君

あやめもしらぬやみの夜に
静かにうごく星くづを

知るや君

まだ弾きも見ぬをとめごの
胸にひそめる琴の音を

知るや君

島崎藤村

「若葉集」より

・ ニュース・お知らせ	2
・ CHORUS	4
・ アンケート	8
・ '68年の外来音楽家	9
・ プロファイル…能仲 徹君 (15)	10
・ プロファイル…鈴木美根子さん (18)	11
	12

♪♪♪♪ 音楽会の御案内 ・ 名古屋

◇クラシック ◆ポピュラー □バレエ

♪♪♪♪

2月
◇江原滋樹

10日(土) PM6.30 中電ホール

□ボリショイ・バレエ公演

12日(日) PM6.30 中日劇場

◇豊田耕児・田中希代子デュエットの夕べ

19日(月) PM6.30 中日劇場

◆エドムンド・ロス楽団公演

24日(土) PM6.30 文化講堂

◇南山メイル・クワイヤー定期演奏会

28日(水) PM6.30 文化講堂

3月

◆アントニオ・ガデス・フラメンコ舞踊団

4日(月) PM6.30 文化講堂

◇グリーン・エコー定期演奏会

14日(木) PM6.30 市公会堂

19日(火) PM6.30 文化講堂

◇大野花子ピアノ独奏会

28日(木) PM6.30 中日劇場

◆ロジャー・ウィリアムス・ショー

30日(土) PM6.30 中日劇場

4月

◆セルジオ・メンデスとブラジル'66

5日(金) PM6.30 文化講堂

♪♪ 関西の音楽会 ♪♪

◇アッシュケナーピアノ演奏会

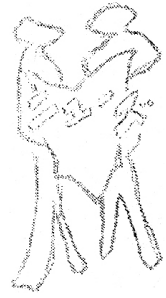
2月8日(木) PM6.30 フェスティバルH

2月14日(水) PM7.00 京都第一

◆エドムンド・ロス楽団公演

2月22日(木) PM6.30 フェスティバルH

2月27日(火) PM7.00 京都第一



この欄は、AKC関係者みんなの近況を知らせるための欄です。誰のことも、どんなことでも、是非お知らせ下さい。

◇「クリスマスのつどい」行われる◇

恒例の「クリスマスマス、うたのつどい」が、十二月二十四日午後、旭丘4階音楽室で開かれた。以前は、このつどいも、在校生と卒業生をつなぐ場として好評を得ていたが、最近の、在校生との連絡も疎になっていたことも手伝ってか、担当の新沢委員の奮闘もむなしく、在校生側の参加者無しという記録を作ってしまった。しかしながら、集まった面々は、戦利品の紅茶とお菓子で、うたとおしゃべりに愉快なひとときを過ごした。特に藤野絢さんの向こうでの生活、帰国旅行の話や、新沢君の「パチンコ総ザンゲン」など。午後五時、プレゼント交換を最後に、ネオンサインが明滅するイヴの街へスタート、昭和60年ヴォーカライズ最後の行事も無事終了。

△出席者▽森下顧問、浅井(五)、鈴木道(十二)、藤野、水野公(十三)、佐藤隆、中野、新沢(一七)、浦部、小出富、吉田(十八)

◇各期のつどいも盛ん◇

◇12 17 18期生集まる◇

クリスマスのつどいに先んずること7日、予定に遅れること7日、十二月十七日午後、十二期「旭だあすの会」が開催された。東新町グラハムに集合、雑談の後、末盛通りカリエンテへ。「鈴木茂・みよ子夫妻をサカナにする会」も二人のむつまじさに、いささか毒気を抜かれた感じ。チョンガにはツミな会合になっていた。

△出席者▽鈴木茂・みよ子夫妻、高原敏子・昭夫妻、長谷川厚、「吉田珪?」、横橋、鈴木道

◇一月一日、恒例の十七期のつどいが開催された。午前十一時、県美術館の前に集まった面々は、元旦の暖かい日ざしの中をブラブラとあてもなくさまよったあげく、地下街の喫茶店、うどん屋、パチンコ店と、場所をかえて時を過ごした。

△出席者▽岡崎、佐藤隆、下条、末永、中野、新沢、三好

◇第四回十八期のつどいが、一月二日午後、錦三丁目キッチン・トキワにて行われた。入ったばかりのお年玉をはたき、二時過ぎの昼食をとり、あれこれ話に花が咲いた。一時間半で会場をかえ、六時半過ぎこの日の会合を終えた。

た。

△参加者▽浅野、池村、岩崎、浦部、熊沢、小出富、立花、津坂幸、内藤彰、新実、花村、広地、牧野

◇藤野さん 帰る◇

97号で一部お知らせしましたが、藤野絢さん(十三)は、二年間の英国での生活を終えて、昨年十一月十八日、無事帰国されました。

十二月三日午後、今池「田園」において帰国記者会見が行われました。明るいグリーンのスーツ、渡英前にくらべて、なにかおちつき以上のものが出てきたふんいき。

走っているバスに飛び乗ったり、ロンドンシンフォニーのベース奏者と仲よしになった話、坊やと日本語で話をした話し、学校のこと、友人のこと、帰国旅行のこと：アクロポリスで腰をぬかしたりウィーンに着いた夜、オペラを観に行つてずっと居眠りしてたこと、：等々、六時間にも及びました。

なお、近々、帰国旅行記を出版されるとのことですので、御希望の方は、同封のハガキでお申し込み下さい。

〔結婚〕

・上前昌三郎君（九）
新居 名古屋市瑞穂区下坂町×××
・服部 修君（十二）
十一月三日異洋子さんとご結婚
愛知県西春日井郡西春町×××
・太田岸子さん（十五）
十一月三日榊原好夫氏とご結婚
半田市成岩本町×××
・宮部杏子さん（十五）
十一月十二日江尻英彦氏とご結婚
大阪府箕面市×××

〔転居・住所変更〕

・中尾桂二君（七）
大阪府茨木市×××
・渡辺恵津子さん（七）
北九州市八幡東区中尾町×××
・石黒鋒子さん（十二）
名古屋市中千種区清住町×××
電話×××
・小出幸子さん（十二）
岐阜県美濃加茂市×××
・桜井照代さん
豊田市平和町×××
・平山葉子さん（十四）
東京都品川区×××
・佐藤隆彦君（十七）
名古屋市中区江川横町×××

電話×××
・永井 充君（八）
名古屋市中区鍋屋町×××
電話×××
右の所に永井抱陽写真館の新しいス
タジオを建てられました。

会費の 会費の
おはなし 会費の
会費の

いつもの話です。会費の話です。42年
度も滞納が多いまま、年度をこし、また
43年度になります。100号記念で、後
に残るような記念号を計画しています。そ
の関係もあって、ヴォーカライズの台所
も、先の見通しが暗い状態です。早急に
左記の様に送って下さい。
36 37 39 40 41 年度…300 円 在 200 円
38 年度……………200 円 在 100 円
42 43 年度……………500 円 在 300 円
送り先 名古屋市中千種区見附町××
浦部くみ子まで 又は、各ブロッ
ク委員へ。
（十五円、十円切手でもかまいません）

つどいの

お知らせ

めつきり春めいてきましたが、
皆さんお元気ですか。
さて、長い冬から解放されて羽
根を伸ばそうと計画しました。の
どかな海を眺めながら、オゾン
を胸いっぱい吸って来ようではあり
ませんか。大勢の皆さんの参加を
お待ちしております。

記

とき 三月二十四日（雨天の
場合は三十一日）
ところ 蒲郡・三ヶ根方面
かいひ 八百円程度
集合 九時、国鉄名古屋駅金の柱
解散 十六時
・昼食・間食は持参のこと
・詳しくは、小出富 電話×××
まで。



Chorus

11月中旬～
12月下旬

到着順

国枝 マリ (十七)

卒業して以来はじめてお便りを出す次第です。書くのはおっくうでもいつもヴォーカライズが来るのはとても楽しみにしています。

私はこの四月から大学の室内合奏団にはいり、(楽器…ピアノ)十月二十四日には東京文化会館小ホールであった定期演奏会でずうずうしくもモーツアルトのピアノコンチェルトを弾きました。結果は?…知る人ぞ知るところ。十一月三日にはお財布をはたいてウィルヘルム・ケンプの演奏会に行きました。曲目はエグモント序曲とベートーヴェン・ピアノ協奏曲四・五番(バックはN響)でした。とても洗練された音で巨匠の演奏とはこんなのをいうのかと今だに陶醉しています。そして十一月四日は田中希代子のピアノリサイタル、十七日はステファンスカと全く秋はものいりで困ってしまいます。

浅井 幸三 (五)

☆精神的にも健康的にも一番まいいい

るときにこのはがきを手にしたのであまり書く気になれません。古い仲間ならこれだけ書けばいまの私の状態がわかってくださることでしょうから…。

☆今月初めの二日間社内では整理記者講座というのを受けました。じつとすわって他人の話を聞くなど十三年ぶりのことでしたのでひどく疲れました。仕事よりよほどえらくいっぺんにからだをこわしてしまつたようです。

☆ノイエ・ゲブルトが中部で優勝するなんてびっくりしました。真知子さんは前々から自信満々だったのですが、最近の楽界の情勢にうとい私には想像すらできなかつたのです。おかげでカケには負けちゃうし、これでますます真知子さんに頭が上がらなくなってしまうみたいです。(十一月七日)

石黒 鋒子 (十二)

・御無沙汰しております。長男が九ヶ月の他早々に二人目がお腹にいて手足でけとばしますの毎日くたくたに疲れます。でも子供は天使の様です。事情が許す限り沢山ほしいと思います。

・親子水入らずで迎える土・日曜日のたのしいこと、当分の間御無沙汰させていただきますので悪しからず。

江口 一彦 (十七)

「近況」最近、余り名古屋へ帰らなくなつたが、十月二十七・二十八は久しぶりに帰宅。やはり家のメシはうまかつた。このところ、ダンスパーティー、クラス旅行(白浜)の準備、トラックの整備etcで非常に忙しく金もいって、只今、ゲルピンでやんす。

十月三十日 スケート&デート(楽しかつたネ!)

十一月二日 友人と飲みすぎてひっくりかえる。

十一月四・五日 東京より友人来る。共に紅葉の花背峠、宇治↓天ヶ瀬をドライブ。京のもみじもそろそろ見頃ですよ。

「予定」十一月十八日より、京大十一月祭。十一月十九日 自動車部主催学内ラリー。十二月二・三日 KAラリー(私も出場いたします)

十二月十七日 ぼくの車の車検がきれる。「伝言」みんなの歌はたいへん結構です。でもできたなら、ギターで伴奏できるようにコードネイムをいれてもらえるとありがたいです。リクエスト・ナンバー「グリーン・フィールド」

池谷 芳子 (十四)

「ニュース」の就職の項に「花嫁修業中」とは。この際、もう一度同じ場所に

こう書いて下さい。「池谷芳子さんは現在Y M C Aで英語を教えています」もつともこれも一月いっぱいのことです。滞納に滞納を重ねた会費を払ってまさに肩の荷が下りたようです。会費滞納の同志達よすみやかに納めた方がよろしいようです。

末永 裕之(一七)

久しぶりにペンを取ります。十月上旬は、二科の名古屋展のため忙しく、続いて試験(といっても解剖の口頭試験だけだった)。試験休みには一人で裏磐梯へ写生旅行:といった調子でバタバタと数ヶ月が過ぎ去ってしまった。十一月十一日の生化学実習のテストが終わると少々ゆつくりできるのでみんなと顔を合わせる事ができるかも知れない。

安田 軍二(十三)

御無沙汰しております。最近ステレオの装置を買いました。スピーカーもあるにはあるのですが、ガタピシしている家ではまず音は出せませんので専らヘッドホンで聞いています。(今も頭にのつけたままで書いています。)いい音しますよ。でも音楽としてはヘッドホンは不自然でためですね。

広地 千曉(十八)
すべて好調。もう少し作業能率が上がれば最高。

青嶋 正志(十七)

Vocalize に積極的に参加できず申し訳ございません。毎日八時近くまで実験でしぼられ忙しい日々、機関紙がそうした中でとても私にとってはありがたいもの、役員の方、よろしく御願いたします。

具島三保子(十四)

秋のはじめに少し体の調子が悪く気もめいっていましたが、最近はモリモリ食べ、ダシガラのような姿も少しは景気よくなったようです。

十一月一日からは、新聞配達の少年たちに、(中学一・二年生)英語を教えています。但、無料で。主人が新聞販売店をしていますのでその関係で少年達の勉強の役に立てばと始めました。もう二回程度しましたけれど、子供達も喜んで、もつと日を増してほしいと言うほど。うれしい悲鳴をあげています。

十一月六日は、アイザック・スターンのやわらかく、そしてダイナミックな音色を充分楽しんできました。

渡辺恵津子(七)

七月初めに堺から北九州に移転いたしました。

ました。北九州市八幡区×××

こちらは名古屋より、堺より寒いそうです。そのうちに「子供も悪うなつて(いたずらになつて)どっこにもいけん」とよー(どこにも行けない)なんて言葉になるのではないかと思われます。増々名古屋から遠くなり、父母恋しの思いにかられます。干害で野菜の値上がり、身は細る思い。

高原 敏子(十二)

子供と私で交代でかぜを弾き、ときには三人共かさなり、小児科・内科と喜ばしくない「ハシゴ」をしております。

長谷川厚子(十二)

一女啓子も一年二ヶ月あんよも上手になり後を追う方が大変です。一寸目を離れたすきに悪いことをして見つかる。「マアマア」と親の口真似をして逃げ出します。でも寝顔を見ていると本当に可愛く一日の疲れも消えてしまいます。来年六月第二子を迎える予定です。

平山 葉子(十四)

九月に東京へ引越しました。ただ今は、家の中の用などで毎日を過ごしています。

毛利 豊(五)

ガラになくかぜを引いてヒーヒー言い

ながら粉を売っています。

桜井 照代 (十三)

やっとスモッグの空より解放されてす
すきや野菊をつんで喜んでいます。真青
な空に黄色いちようが散るのを見て秋
も終りだなあと思ったり…。

山の中ですが、こちらにお越しの折に
は是非ドーゾ。珍客歓迎します。

加藤久美子 (十五)

十五期のみなさんお元気ですか？音楽
室がとてもこいしくなつて、十月八日の
日曜日に学校へノコノコ出かけていきま
した。そこでバツタリ十五期の三君に会
いました。嬉しくてなつかしくてしばら
くの間、高校時代にかえつたような気持
でした。三人ともとても元気そうでした
が、やつぱり年はとられたようでした(失
礼)。秋風、木枯しが身にこたえる毎日、
私にとつては心から笑うことができた一
日でした。

大竹 克美 (十八)

十一月三・四・五と、工大祭で歌声喫
茶をやり、一人で三日間司会をした。三
日の日は徹夜で準備したあとでさすがに
バテた。三日間合計では十六時間歌い通
し、それに加えて音楽祭で二時間歌った
ので、計十八時間。評判はよかった。お

陰で翌日熱を出して寝込んでしまった。
司会の評判は(女性の間では)非常によ
くホクホクしています。

池村久美子 (十八)

十一月五日(日)名古屋市公会堂で開
かれた学生ミュージカルフェスティバル
を見に(?)行きました。名工大、名大、
金城大等の各バンドが腕を競いあい、エ
レキからディキシシー、ウエスタン、ハワ
イアンとヴァラエティーに富み、楽しい
一時を過しました。

榊原 岸子 (十五)

十一月三日、ホテル・ニューナゴヤで
結婚式を挙げました。主人は二十七才、
中央信託銀行金山橋支店に勤務していま
す。

岡崎 美彦 (十七)

近況・宣伝

京大グリー第一回演奏会が十二月三
日に迫ったので、その練習、チケット
売り、ポスター貼り等に追われている。
京都に近い方はぜひおいで下さい。:
と宣伝しても、ヴォーカライズの次号
はどうせ間に合わないであろう。関西
地区だけの特別宣伝号でも出そうかと
思っている。

津坂 幸子 (十八)

近況Ⅱ毎日勉強とハープの練習に没頭。
予定Ⅱ一月二十四日午後六時。大阪の科学
技術センターで、雨田ハープスタジオの
発表会がありますので、おひまなかつたは
ぜひどうぞ。

横山二三子 (七)

近況Ⅱ十一月十九日 クラス会があり出
席し一日とても楽しくすごし、年が少し
若くなった気持。

吉田 信 (十八)

ただいま定演十日前。練習も最後の仕
上げで必死にガンバツています。

神戸大学混声合唱団 Apollon (アポロン)
第五回定期演奏会 神戸国際会館

I、Missa brevis. Mozart II、煉瓦色の
町 大中 恩 III、Nigro spirituals IV、

混声合唱組曲、おかあさんのバカ 中田
喜直、磯部 俣

十一月〜十二月は阪神間の各大学の演
奏会のシーズンです。今年もまた神戸の
国際会館にしばしば足を運び、サイフは
軽くなる事でしょう。僕が演奏会を聞き
にくのはだいたい次の大学です。グリ
ー:三商大(神戸・一橋・大阪市大)、神
戸商大、甲南大、関西大、関西学院大。
女声:神戸女学院、山手女学院、甲南女

大。混声：神戸外大、大阪市大。

酒井 君枝（十八）

クラブ活動をしていると絵を描く時間が無くなるので、目下マイペースで描いています。

最近はおむたくておむたくて、いくらでも寝れている位です。

江尻 杏子（十五）

十一月十二日、人生の墓場へ足をつっこみました。

箕面という所、モミジの名所とか、一度ヴォーカライズの秋のピクニック、こちらへいらつしやいませんか。

近藤磨理子（五）

近況Ⅱ先日京都洛北八瀬大原三千院と寂光院に行って参りました。もみじは美しかったです。毎日婦人文化センターカメラ会員の撮影会で行なったのですが、期待した傑作が少なくやや自信を失っています。

藤井 容子（六）

近況Ⅱよせばいいのにグレードテスト（註）訳オンガクノウリョクケンテイシケン）てのを受けたもんだから、この半年老いの身にムチうって勉強。キビシイ事でした。やっと昨日実技も終ってホッとなりました。

パスしたらバンザイ。落っこちたら・・・誰かなぐさめて下さいネ。自信？・・・それがないんだなア。

三好 和憲（一七）

近況Ⅱ別段変わったことナシ

宣伝・伝言Ⅱナシ

予定Ⅱ

十二月（二十二±一日）・帰名

小出富士夫（十八）

近況Ⅱ十一月中旬にクラスの有志六人で哲学研究会（仮称）なる一種の読書会を作る。哲学だけでなく、本を読み話し合うことを通じて、青春を大いにデンケンし語り合い、有意義に過そうという会。前日も夜十二時過ぎまで話しをしていた。非常に楽しい。

・四日市の「公害訴訟を支持する会」に入会。四日市では公害認定患者のうち十二人が死亡、全快患者ゼロ。そして東京、千葉の市原、静岡の三島、名古屋、大阪、広島の大竹：と大気汚染はふえる一方。健康で文化的生活を営めるよう、公害問題をお勉強していきたい。

・先日生活保護を受けている家を訪問。こんなに多くの人々が、想像もできないような貧しい暮らしをしているのを見て非常におどろいた。まさに百聞は一見に

如かず。

・十一月三十日 全国医学学生統一行動半日ストで、矢場町から市役所までデモをする。

宣伝Ⅱ四日市ゼンソクで「死んで楽になりたい」といつて首をつった木平さん、残りの家族がブラジルへ逃げて移住した話。1930年ベルギーのスマッグ事件で63人死亡。48年アメリカペンシルバニアで工場の排煙で20人死亡、住民の半数5900人が呼吸器障害。1952年ロンドンのスマッグ事件、亜硫酸ガスで4000人の死亡増加。東京でも上野動物園で昭和三十年より大気汚染の影響でシロクマも白鳥もよごれて灰色になり、サルに鼻毛が生え、癌で死んだ鳥獣が60以上等々。あなたは公害の恐ろしさをどのぐらい知っていますか。

・十二月国会で、登録医制度を含む医師法改正案が上程されます。医学連、青医連の方針には多少疑問がありますが、僕たち医学生は、①より良い医者になるための教育の改善②経済的面で保証という点から反対しています。理解ある支持をお願いします。

磯貝 文江（十五）

寒くなりましたね、お元気ですか、クリスマスパーティー楽しみにしています。

新沢 宏 (一七)

十一月二十四日のゼミナール対抗ソフトボール大会で我が滝沢ゼミナールは優勝しました。優勝までの四試合の得点は合計49点。十一月二十六日には桜山の先宅で優勝コンパがあり、十月のゼミナール旅行の8ミリ映写会も同時に行われました。

十一月二十九日と三十日の両日、名古屋では濃霧に包まれ、三十日などは、経済学部からは、他の学部が全く見えず、山でガスに包まれた時はいかに危険であるかある程度実感として感じました。十二月六日は、ゼミナールの工場見学の予定です。

藤野 絢 (十三)

すっかり者の友人と一緒にしたおかげで、十一月十八日予定通り日本に戻りました。横浜に降りて、新幹線で名古屋に……我が家には夜の十時少し前につきましたが、兄達のチビッコギャング団でワイワイガヤガヤ。しみじみ父と母に「タダイマ、カエリマシタ」の挨拶をしたのは、二日後のお昼。それから毎日食べてお話しをして、テレビを見て本を読んでいるだけです。

荷物がまだつきませんのでこの有様です。どうにも仕方ありません。そして十二月に入って又段々もう一度行きたい気が

持が大きくなつてきて困っています。

覚えたほんの少しの英語は、ウルサイセールスをさばくのに大いに役に立ち、スカッとなりました。

佐藤 隆彦 (十七)

近況Ⅱ日本経済学生ゼミナールに国際経済部門参加の為、十一月二十一日から仙台へ行き、帰路に平泉、会津若松、日光と足をのばし、東京で旭丘時代の友と会い、二十八日に帰名しました。みちのくの晩秋はさすがに寒く、ブルブルふるえておりました。

十二月上旬、家を引越すので、帰ってからもあわただしい日々が続いております。

アンケート

① 本はどのように読まれますか。(時間・場所など)
② 最近読まれた本



あんけーと



浅井 幸三 (五)

・夜あるいは明け方、寢床の中で雑読します。
・SF一辺倒(とくにスペースオペラに目下興味あり)

石黒 鋒子 (十二)

・犬になりたくなかった犬、赤ちゃん百科

江口一彦 (十七)

・下宿で一人淋しく、授業中、車を停めて

・パールバック「大地」全部 E・ブロンテ「嵐が丘」 山崎豊子「白い巨塔」(只今進行中) トルストイ「戦争と平和」

池谷 芳子 (十四)

・自動車の運転席で。勿論走っていない時に。

中野 和明 (十七)

・読みたいと思った時に一人で静かに、ひといきに読んでしまいます。

・作者の名前だけあげていきます。安部公房、大江健三郎。椎名麟三、竹田泰淳

末永 裕之 (一七)

・何もほかにする事がない時、ベッドでねそべって、疲れたら机に向う。本屋での立読み。

・Aソルジェニツィン「イワン・デニソビッチの一日」 ユゴー「氷島奇談」 新美南吉詩集、墓碑銘

安田 軍二 (十三)

・「さあこれからこの本を読むぞ」と構えて読む方で、「寸暇をおしんで」とか「この本でも読んでみようか」という読み方ではないようです。

・最近二ヶ月程まとまったものは読んでいません。推薦「示談」交通事故の多い時代ですので、いざという時役に立つと思います。

広地 千暁 (十八)

・読みたくなったとき、場所選ばず。
・朔太郎詩集、ヘッセ「春の嵐」技術資料

渡辺恵津子 (七)

・お昼間、家にて
・絵から見る幼児の心理

高原 敏子 (十二)

・子供の昼寝中とか夜
・「ボヴァリー夫人」「三才児」「しつけをどうした

・「レベッカ」「雨月物語」 ・主に会社の昼休み、仕事中は絶対読みません（ウフフ） ・通勤途中（星ヶ丘―名古屋）地下鉄の中、又は深夜松下連邦経営、少数者の手に、マクルーハンの世界、邪馬台国への道、etc. ・よい本を見つけた時に読む。	・試験前、寝床の中で、食事時台所で、講義中教室で、晴れた日に空き地で ・カラマゾフの兄弟、いたずら天才、愛の無情について	・手元にあるもの、ひまな時にプライベートルームで ・午後三〜四時間で気のむいた時、ソファアの上で猫の様に好き勝手に ・日産の挑戦 ・仕事、生徒の休みなどで時間があいた時 ・ゼロの焦点、SFを少し
・講義中 ・いろいろ ・別にきめて読むのではなく、いつでもどこでも今読んでいる本。中国故事物語 ・マンガ：喫茶店、新書：車内、経済学・勉強の本 ・机の前、その中で特にむづかしいもの：フトンの中、ねむる直前に ・唯物史観と現代、死の世界（SF） ・夜家で ・「アトリエ」「みずゑ」 ・午前中オコタの中で ・ジェン・エア、嵐が丘（最近映画を観たので、読みなおしました。 ・読みたいと思う時に ・学校で休み時間に ・大江健三郎全作品Ⅰ、万延元年のフットボール（大江健三郎） ・手あたりしだい、どこでも ・星の王子様 ・寝る前にフトンの中でスイミン葉代りに ・音楽通論、和歌と楽式アナリーゼ、etc.（受験の為仕方なく読んだ）	・津坂幸子（十八） ・横山二三子（七） ・吉田 信（十八） ・マンガ：喫茶店、新書：車内、経済学・勉強の本 ・机の前、その中で特にむづかしいもの：フトンの中、ねむる直前に ・唯物史観と現代、死の世界（SF） ・酒井 君枝（十八） ・早川 礼（十三） ・ジェン・エア、嵐が丘（最近映画を観たので、読みなおしました。 ・江尻 杏子（十五） ・浦部くみ子（十八） ・大江健三郎全作品Ⅰ、万延元年のフットボール（大江健三郎） ・近藤磨理子（五） ・藤井 容子（六）	・長谷川厚子（十二） ・千夜一夜物語、青春の墓標、スポック博士の育児書 ・平山 葉子（十四） ・アンナマググレーナ・バッハ「バッハの思い出」 ・桜井 照代（十三） ・午後三〜四時間で気のむいた時、ソファアの上で猫の様に好き勝手に ・日産の挑戦 ・仕事、生徒の休みなどで時間があいた時 ・ゼロの焦点、SFを少し
・寝床に入ってから15分間 ・ウィーナー「サイバネティックス」（進行中）「悪徳の栄え」ウッシッシ ・時刻夜、時間不定、場所勉強机の前（但し漫画は本屋の店頭にて） ・Schweber"Relativistic Quantum field theory" Weyl "Gruppen theorie und Quantum Mechanik" 講談社「週刊少年マガジン」小学館「週刊少年サンデー」 ・授業中、車中（名古屋―津）、就床後 ・ジンメル「断想」人間理解への道、ガン&T、人災と健康 ・大学の図書館、家で机に向って、本屋の店頭、時間は決ってない ・小松良郎「弱者の思想」「現代日本産業講座Ⅲ」 ・長谷川町子「いじわるバアサン」1,2 ・帰国して只今まだ何もする事がないので本ばかり読んでいます。食事時、睡眠時、テレビの他の時間で、 ・旅行中に"True Austin Pride and Prejudice" 只今日本語でロマン・ローラン「ジャン・クリストフ」の読み直し ・専門書「後進諸国の資本形態」ヌルクセ、赤松要「世界経済論」	・長谷川義祐（十七） ・三好 和憲（一七） ・Schweber"Relativistic Quantum field theory" Weyl "Gruppen theorie und Quantum Mechanik" 講談社「週刊少年マガジン」小学館「週刊少年サンデー」 ・小出富士夫（十八） ・新沢 宏（一七） ・藤野 絢（十三）	・長谷川厚子（十二） ・千夜一夜物語、青春の墓標、スポック博士の育児書 ・平山 葉子（十四） ・アンナマググレーナ・バッハ「バッハの思い出」 ・桜井 照代（十三） ・午後三〜四時間で気のむいた時、ソファアの上で猫の様に好き勝手に ・日産の挑戦 ・仕事、生徒の休みなどで時間があいた時 ・ゼロの焦点、SFを少し



‘68 年の 外来音楽家



昨年は多くの外人音楽家が日本を訪れた。秋だけでも、ケンプ、アイザック・スターン、ウイーン・シンフォニカ、イ・ムジチ、アマデウス弦楽四重奏団等々。今年も昨年にもまして大量の外人来日が予定されている。

第一に四月六月に集中するオーケストラ。まず大阪国際フェスティバル協会招聘でヨーゼフ・クリップス指揮のサンフランシスコ交響楽団が初の来日とケルテス指揮のロンドン交響楽団が三度目の来日をする。NHKでは巨匠ヨーゼフ・カイルベルトが常任指揮者をしている西独バンベルグ交響楽団を呼び、東京、大阪などでは岩城宏之が指揮をすることになっている。これだけでも大変なにぎわいといえるが、さらに五月にはソビエト国立交響楽団がショスタコービチの息子で若手指揮者のマキシム・ショスタコービチ、バイオリンのレオニード・コーガン、チャイコフスキーコンクール入賞者のソロコフ、チェロのロストロポービチらを行き来させて来日する予定だし、六月には

CBC放送の招きでエルネスト・アンセルメ、パウル・クレツキを指揮者とするスイス・ロマンダ交響楽団がやって来る。これはすでに昨年十二月二十日から前売りを開始した。なお日生劇場五周年記念の予定のミュンヘン・パッサ管弦楽団・合唱団は中止になった模様。秋にはパリのパイヤール室内管弦楽団、それに西ベルリンの聖ヘドウィツヒ合唱団とボンのベートーベンホール所属の楽団との合同来日が決定している。

室内楽ではパリ管楽五重奏団、ウィーン・フィルのトップ奏者によるウィーン・フィル管弦四重奏団、ボロディン弦楽四重奏団の三グループが予定されている。ピアノではウラジミール・アシュケナージ、ハラシエビツチ、クラウディオ・アラウ、エリック・ハイドシェック、ルドルフの息子ピーター・ゼルキン、レオナード・ゲルバーらがある。

バイオリンは昨年スターンベシュリングラの大部が来てしまったので、やや小さくなるがコーガンを筆頭にルツジェロ・リツチ、アメリカのヨーゼフ・フツクス、ベルリン・フィルの首席レオン・シュピラー、なおフランチェスカッティが来日するかも知れぬとの説もある。チェロはピエール・フルニエ、ギターでジュリアン・ブリーム、ジョン・ウイリ

アムス、フルートでオーレル・ニコレ、ミシェル・デボスト、歌でタリアビーニ、アントニエッタ・ステラといったところ。今年の外來音楽家たちである。

ポピュラー関係に目を向けると、この世界はスケジュールがなかなか決定しないので判然としないケースが多い。一旦解散したとの噂のウオーカー・ブラザーズ、ボサノバの女王アストラット・ジルベルト、コンチネンタルタンゴのアルフレッド・ハウゼ楽団、ビリー・ボーン楽団、セルジオ・メンデス66、フラメンコ・ギターでカルロス・モントーヤ、アントニオ・カデイス、ピアノのロジャール・ウイリアムス、歌でエンリコ・マシアス、八度目のイベツト・ジローなどがほぼ確定している。その他、最近注目されているインド音楽の奏者で、シタールという楽器をひくシャンカールが二月に、また数年前から話題になっているソ連の赤軍合唱団の185人が秋に石井音楽事務所の招きで来日する。

限られた紙面で名前を記したにすぎないが、何も外來音楽家ばかりが音楽家ではなく、立派な演奏する邦人音楽家も多いことを記しておきたい。期待のもとでそのような一年である。

F M 放送

小出富士夫 (十八期)

日本でFM (Frequency Modulation) 実験放送が開始されて十年、音楽ファンの夢であったステレオ放送も始まって四年になる。放送局もNHKが全国に170局(52年度末)、東京にはFM東海もあり、全国の九割近い人が聴取可能になった。FMのキャッチフレーズは雑音の少ない事。従来のAMは雑音が多く、夜にはビート妨害でピーとなるが、FMにはそれが全くなく、音質も非常によい。しかしFMも自動車の雑音電波にはお手あげ。ガソリンエンジンから出るノイズはFM波なので、受信機のアンテナからスピーカーまで素通りし、バリバリと雑音を出す。これは消極的に指向性の強いアンテナを使つて逃げるか、メーカーがノイズレス自動車を作るのを待つよりしかたがない。それにしてもFMはすばらしい。FMの本放送も間近く、将来は民間のFM放送も実施されることだろう。とにかくFMは放送に残された貴重な周波数でもあるので、FMらしい格調高い放送を維持し発展してもらいたいものです。

プロフィール

能仲氏。通称・愛称は不明だが、昭和二十年一月二日に生を受けてから「徹」という名にかわりがないそうである。彼は一見まじめそうで、本人に聞いてもやはりまじめだそうである。現在名古屋工大の計測工学科に学び、目下オートメーションの研究に心を砕いている。しかしその忙しさの中でも常に音楽を心の友とし、合唱も既に七年になり、工大でもセカンドデナーのパートリーダーなどを勤めた。その合唱は幅広く、深く、先日のメサイア演奏会でも、その実力をまざまざと見せてくれたそうである。(□氏談)。その合唱も今年は聞けなくなりそうなのでまことに残念に思っている。というのは、今年は自分の研究一本に打ち込みたいもので時間が無いかららしい。東海合唱界の歩みがこれで一年遅れるのではないかと、そればかりが心配である。

ところで、彼の趣味は意外にも庭いじり。また特技は特に無いそうだが、ピアノは早く50番をやりたいそうである。とにかく彼は???の青年である。あなたも機会があったら是非彼にお会いになるとよい。私も彼を知ってから自分の人生観が大きく変わったことを感じる。

(S・M)

???の青年

のう なか とおる

能仲 徹 君 (15期)

シックスシリーズ (80)

能仲徹 君 (15期)

撮影 (期)

写真はこの欄にお貼り下さい。
つごうにより写真は次号に同封
します。

能仲さん、ずいぶん長い間お逢いしていません。音楽部の時からずっと今日までもの静かな人です。(きつとそうだろうと思います)二年生の文化祭の時には陰の照明係をずいぶん楽しそうにしていらつしやいました。目立った存在ではなかったけれど、何故かどつしりとした重さの感じられる人でした。こんな事もありました。クラブをさぼって帰ろうとする、決して怒るのではなく「どうして帰るの?クラブがかわいくないの?なんて、もの静かに言われると、何となく帰りにくくなり、クラブに出席したものでした。ヴォーカライズの行事にもよく参加なさっています。能仲さんのような人がヴォーカライズの役員になったらすてきだと思います。だって能仲さんのような人が、たのまれた事を「いや」とはおっしゃいません。とにかく付合えば合う程味の出る人です。

(F・I)

プロフィール

ピアノ ピアノの
すずき みねこ

鈴木美根子さん(十八期)

八人目の鈴木

何と素敵な女性なんだろう。慎しみ深く上品で、それでいてユーモアに富んでいる。と、会った人なら誰しも思う。それが彼女なんです。

鈴木美根子さん、現在「愛知県立芸術大学音楽課程器楽科ピアノ」に在学中。

A K C時代には、文化祭にコンクールにと、ピアノ伴奏を務め、そのタッチは歌っている者の心を落着かせるものを持っていました。美根子さんの伴奏なら安心して歌えるとの定評。ピアノを弾く際には、その人の性格があらわれると言いますが、まさにその通りであると思います。毎日、四〜五時間、ピアノのレッスンに励み、クラシックからモダンまで何でも弾きこなす彼女です。おとなしいと見える中にもピーンと一本張ったものがある。そんな強さが小学校二年以来ずっとピアノを続けてきた事にも通じるのではないだろうか。付合えば付合うほどその良さがわかってくる人。(スルメのあじよりも、もつといい)

一度会えば、そのかわいらしき etc. に、あなたもきっと彼女のファンになるでし

よう。(ある熱烈な一(いち)ファンより)

(S・T)

ピアノを語らずして彼女を語ることができない程、彼女とピアノは大の仲良し。A K Cの文化祭でも二年連続してピアノ独奏。

よくクワレットの伴奏を頼むことがあります。そんな時彼女はまちがえと必ず弾き直し、あくまで楽譜に忠実に弾くのです。

県芸大に行った時のこと、他の学生が芸術家の卵らしいのに、彼女は普通の女性とかわりがないのです。しかしピアノに向かう彼女は違う、おとなしい感じの彼女が急に、水を得た魚のように生き生きと感じられるのです。

ヴォーカライズとしても、久しぶりの四年制音楽大学生であり、彼女のこれからが非常に楽しみです。(F・K)

シックスシリーズ (81)
鈴木美根子さん (18期)

写真はこの欄におはり下さい。
都合により次号に同封します。

Invention

暖かくなりました。お元気で
すか。毎年、冬眠するヴォーカ
ライズ、やっと眼をさましたよ
うです。100号記念行事もまだか
に迫っているのに、まったくな
さけないことですね。

四月二十四日、東名高速道路
小牧岡崎間が開通します。これ

に関連して、東山以東広小路線の改築工
新設工事が急ピッチで進められています
が、私の受持ちの、「新上社橋」の最後の
コンクリート打ちが二日に終わり、やっ
と一息。仕事に力を入れていると、他の
ことがなんにもできなくて……エヘヘ。
こんな小さなことではいけないでしょ
うか。自分の未来の仕事のすみずみまで
気がまわりきれないのに、悪く言
えばひまつぶしに力を入れることはよく
ないことだと思ふし、現実には、なにもで
きないでいる……私のヴォーカライズの
とらえ方、生活態度がまちがってるので
しょうか。

今年度も、もうおしまいです。なにも
しないで過ぎてしまった一年。今さらな
にも言うことはありません。ただ、もう
なにもできないし、したくないし、なに
もしないでこのままヴォーカライズにい
ることはまっぴら。

そろそろ消えるかな。

(ミチ)

VOCALIZE no.99

1968.4.15

小景異情

その一

白魚はさびしや

そのくろき瞳（め）はなんといふ
なんといふしをらしさぞよ
そとにひる餉をしたたむる

わがよそよそしさと

かなしさと

ききともなやな雀しば啼けり

その六

あんずよ

花着け

地ぞ早やに輝やけ

あんずよ花着け

ああんずよ燃えよ

ああ あんずよ花着け

室生犀星

「叙情小曲集」より

・選挙告示・会計報告……………2

・ニュース……………3

・CHORUS……………4

・ファン気質PR……………7

・2年総まくり……………8

・プロフィール……………10

・中野和明君（17）……………11

・足立靖子さん（15）……………12

四月の音楽会 名古屋

◇クラシック ◆ポピュラー □ステージ

◇サンフランシスコ交響楽団

13日 PM7.00 文化講堂

◆カルロス・モントヤ・フラメンコギター

22日 PM6.30 中日劇場

◇ロベール・カサドシュ・ピアノリサイタル

23日 PM6.30 文化講堂

◇パリ管楽五重奏団

26日 PM6.30 中日劇場

◇ジュリアン・ブリーム・ギター演奏会

27日 PM6.30 文化講堂

◆ザ・ベンチャーズ公演

30日 PM6.30 中日劇場

5月の主な音楽会

◆アルフレッド・ハウゼ楽団

7日 PM6.30 中日劇場

◇バンベルク交響楽団

21日 PM6.30 文化講堂

30日 PM6.30 文化講堂

6月の主な音楽会

◇国立ソビエト交響楽団

14日 PM6.30 市公会堂

昭和四十三年度役員選挙

告 示

昭和四十三年度AKCヴォーカライズの役員選挙を次の要領で施行します。同封の投票ハガキでもれなく投票して下さい。

記

一、選任委員十三名

会長 一名

副会長 二名

ブロック委員・十名

但し、関東・関西ブロックについては、五月に別途選挙。

一、投票方法

同封の名古屋地区在住の会員名を記載した投票用ハガキに次のように記入して

五月四日

までに到着するように投函して下さい。

*会長・副会長は全体から3名を選ん

で○印

*ブロック委員はあなたの属するブロックから1名を選んで△印

【註一】 会長および副会長については、

得票数の多い順に、会長1名、副会長2名を選任するものとします。

【註二】

関東・関西ブロックの方は、あなたが名古屋に居た場合に属するブロックの委員を選んで下さい。

【註三】

委員選出単位ブロックは次のとおりです。

Aブロック：五・六・七・八・

九・十期

Bブロック：十二・十三期

Cブロック：十四期

Dブロック：十五・十六期

Eブロック：十七期

Fブロック：十八・十九期

【註四】

○印を四つ以上、あるいは△印を二つ以上つけると無効になりますから御注意下さい。

【註五】

投票は無記名で行ないます。あなたの名前を書いていただく必要はありません。

ヴォーカライズをあなたの会にするためには、あなたの一票が必要です。もれなく投票して下さい。なお、あなたの属するブロックはハガキに記載してあります。

昭和四十二年 度

会計報告

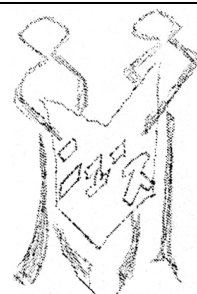
四十二年度の会計報告をいたします。

四月十日現在で左記のとおりです。ヴォーカライズもいよいよ100号をむかえることになりました。記念号は後々まで残るような実のあるものになりたいと思いますが、現在費用が足りません。42年度も会費未納分は増え、その累計は57,050円にもなっています。100号記念号を成功させるためにも至急納入して下さいますようお願い致します。



* 収入の部	40,805 円	* 支出の部	31,099 円
前年度繰越金	21,725	発送費	18,347
未納分会費	7,300	ハガキ代	5,292
42年度分会費	15,400	孔版紙代	2,250
預り金	3,000	写真代	4,380
雑収入 (切手)	156	インク代	770
		原紙代	60

* 残高 16,482 円。



この欄はAKC関係者みんなの近況を知らせ合うためのものです。だれのことでも、どんなことでも、ぜひお知らせ下さい。

〔就学先〕（判明分）

三好文恵（二十）さん
愛知県立大学国文
松田典子（二十）さん
名古屋大学理学部
玉川久子（二十）さん
名古屋大学文学部
奥田明子（二十）さん
名古屋大学文学部
片田直幸（二十）君
名古屋大学医学部
丹下典子（二十）さん
愛知教育大学音楽科
矢木啓子（二十）さん
東京女子大学
吉田豊太郎（十九）君
多摩美大
広地千暁（十八）君
岐阜大学農学部
大里 斉（十五）君
名古屋工業大学大学院

〔転勤〕

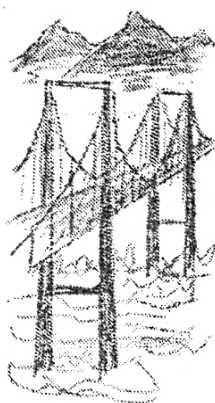
長瀬宣子（十五）さん
名古屋市立村雲小学校
森本 進（十）君
名古屋市立前津中学校
伊藤真知子（十四）さん
名古屋市立上野小学校

〔結婚〕

平山葉子（十四）さん||新姓西
一月二十一日 西和夫さんとご結婚
東京都品川区×××
岩崎優子（十八）さん||新姓矢野
四月十五日 東京ホテルニューオオ
ジで矢野 氏と挙式。新居は次のと
おり。

〔転居〕

名古屋市中村区東宿町×××
鈴木知子さん（七）
名古屋市昭和区天白町×××



（あいさつ）

四十二年度もなんとか無事？つとめることができたことは、皆さんの御協力があったからこそと、厚くお礼申し上げます。

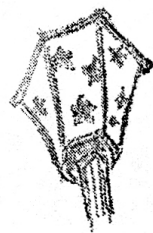
とぎれとぎれではありましたが、とにかく、会紙をお送りできたこと、参加者は少なかつたけれども、なんとかつどいをもてたこと、この間、激励、助言下さった多くの皆さんがいてくださったこと等々、どんなに励みになったことでしょうか。

満足な仕事ができなかったことを残念に思いますが、新しい年度を迎えるにあたって一言ごあいさつ申し上げます。

さて、「Vocalize」も99号をかぞえ、いよいよ来月は100号を発行のはこびとなりました。今回同封したはがき、98号に同封したはがきは、100号編集の資料となりますので、必ず返送して下さいようお願い申し上げます。

来月からは、新しい役員、新しい企画でお目通りすることと思います。今後ヴォーカライズに御声援の程御願い申し上げます。

Chorus

近況・予定・宣伝・
伝言 etc.3月中旬～
到着順

青嶋 正志 (十七)
三月十三日に定期試験が終り、明日(十二日)まで講義、それから春休み。(四月七日まで)のんびりとどこかへ旅行でも思っています。

西 葉子 (十四)

ごぶさたしております。

一月二十一日結婚いたしました。今は、午前中は家の中のかたづけもの、午後はピアノを弾いて居ります。里も東京へ引越してしまい、名古屋へも出かける用もなく、時々懐しく思い出します。何しろ名古屋では十七年間暮らしましたので。

毛利 豊 (五)

会社にももう私の年より一廻り以上違う若い人が入って来る様になり悲哀を感じることはしばしば、しかし、物の考え方は若い人に負けない積り。何時までも青年でありたいと願ってます。

加藤幽香子 (五)

近況：彼が二ヶ月間、東南アジア七カ国を船旅。真黒に焼けて帰国。彼女はその間、二児を連れ帰り。お互いそれぞれハッスルして浮気したとかならないとか。留守番の不満もオミヤゲでチョン。

石黒 鋒子 (十二)

一週間前に長女が生まれました。年子なので妊娠出産育児が年中行事の様でしたが、この辺でひと休みしたいところです。新生児をながめていると座頭市にみえたり有馬稲子に似ていたりで全くゆかい。成長がたのしみですが、今のところ上のベトコン息子と二人の育児にカッカしたりオロオロしたりテンヤワンヤです。当分は御無沙汰致す予定ですので悪しからず。

磯貝 文江 (十五)

悲しみの連続の毎日です。今日も又寂しい一日でしょう。何か楽しくなることはないかしら？

佐藤 隆彦 (十七)

近況・三月三・四・五日とゼミ旅行で南紀へ行ってきました。新婚旅行のカップルが多いのはまいりました。妹の大学入試も無事終ってホッとしたところです。

桜井 照代 (十三)

いろいろお世話になりましたが、今年度で退会させていただきます。皆様によりしくお伝え下さい。

高田 靖子 (十)

三月に入っても雪が降りました。ごぶさたしてしまいました。皆様お元気でいらっしやいましょうか。

今日はお彼岸の入り、空にひばりの声がとてもにぎやかでやと春が来た様でございます。三才九ヶ月になる娘と毎日あそんで暮しております。この頃ではなかなか一人前で笑わせられたり閉口させられたりやつつけられたり：賑やかなことです。NHKテレビのうたのえほん、ラジオのピッポピッポンの大ファンで毎日おつきあいであうたをおぼえさせられうたわされております。

森 佳子 (八)

春ですね。ねむいねむい春ですね。よくねて困ってしまいます。自分の健康なぞかまっていられない毎日ですのにミジンもやせないつらさ。でももしやせたりしたら、きつと心配でたまらないだろうと思います。健康でいられることっていいですね。

岡崎 美彦 (十七)

・三月末の東京・横浜演奏旅行の練習におわれている。

・日本で採集できる代表的化石がほとんどそろったので、ヴォーカライズ会員に限り公開する。希望者は官製ハガキで申し込むこと。

・七月七日の七夕の日に京大グリー、名大グリーンハーモニー、金城グリーのジョイントコンサートを行う。皆さんのおいでをお待ちします。

小出富士夫 (十八)

・僕の友人が、ユエで、二月のベトコンの第一派攻勢の巻添を受けました。死を覚悟した八日間を過ごしたそうで、この話を聞いた時程ベトナム戦争を身近に感じたことはありません。

・去年のクリスマスに、ウイスキーとケークをチャンポンに飲食して、気持が悪くなった印象が消えず、いまだにウイスキーが飲みにくくて…。

・ゴールドラッシュに備え、金齒がないので万年筆のペン先でも大切にしようかなと思っています。

予定

四月上旬、奈良のお寺を訪ねて一人旅。一人旅も気楽で、落着けていいものですよ。

浅井 幸三 (五)

☆二ヶ月遅れの年賀状を出したところ、返事や電話があったのは、先生とおかあさんとかいった目上の人ばかり。やはり「しつけ」が昔といまではずいぶん違うのだとあらためて感心しました。実は、一年半前に転勤あいさつを出したときにもまったく同じ傾向があり、私はいよいよ若い人不信になつていくようです。

☆ことし中に結婚する予定でしたが、藤井容子さんのご期待（一生独身で通してほしいとのことでした）にそむいても悪いと思つて無期延期しました。といつてこれから先、ずっとひとりというのなものなにか寂しいし、困っています。そのうち、また気が変つて結婚することがあるかもしれません。そのときは会員の皆さんに集まってもらつて、パーティー式でやるつもりですので、なにぶんともよろしく。会費貯金しておいてね。

鈴木 知子 (七)

私達の同期の桜も皆ウバ桜になつて、二人づつもこどもをかかえこんで仕舞い御苦労さんの事です。その中で唯一人若やいでいるのは、この私位なものでした。然し遂に私も今年からどうやら仲間入りの様です。二人も三人も、子供を産む事、育てる事、勇気のいる事です。御苦

労さんな事だと云ふ事が、今年になつて、身に浸みて解つた事が大きな収穫でした。「父・母の恩は山よりも高し、海よりも深し」これは、女の人が云つたんじゃないかと思ひます。ダツテ、産む時育てる時の苦しい時、ダンナさんは、グウグウ高イビキ。それを中断される時、「やかましいなあ、静かにさせろ」です。から天下泰平ですよ、マッタク…。今になつて、本当に親は有難いものと遅れ走せ乍ら感謝しています。

広地 千暁 (十八)

長い長い浪人の結果、岐大へ行けることになりました。十八期の最後の浪人も大学へ行くことになったわけです。いままでいろいろ御心配を下さった各位に感謝します。

江尻 杏子 (十五)

春になりました。庭には、タンポポ、ナズナ、それから水色のちっちゃな花が沢山咲きはじめました。春ですね。私も元気です。

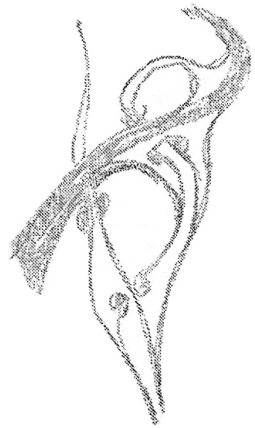
予定

三月二十日 黒部の太陽

三月二十一日 帰名

三月二十二日 名古屋より来客

三月二十九日 帰名

三月三十日 広島より来客 四月二十日 カサドシユ演奏会↑これが たのしみ ヴォーカライズを戴くと本当にほっと します。急いで封を切り何度も読みなお します。そして近頃感じる事。「年を取っ たなあ」と。「情けないことよ」「若い人 がうらやましい」「いいえ、私は若いのよ」 昨日、二泊旅行から帰ってきました。 主人と子供の三人連れで、車でのんびり ドライブしながら別府に二泊、九州横断 道路を通って九重高原へ。 泊まった所は、「南風ビラ」と云う一戸 建ての家が沢山あるところ。食事は運ん でくれるし、おそうじはしてくれるし、 台所がついているのでお茶は勝手に飲め るし、とてもものんびりして、いつも姑と 一緒にの私にとって初めての家族だけの生 活でした。 服部 修 (十二) 御無沙汰。昨秋結婚シマシタガ共働キ ノ為毎日テンテコマイ。今マデシタコト ノナイ、掃除、家事にノ手伝イ、音ヲ上 ゲテイマス。結婚スルニハヨクヨク御注 意ノ程。	新沢 宏 (一七) 近況...約一ヶ月半の春休みを例のごとく だらだらと過ごす。 三月三十日：旭丘高校同窓会に出席 四月二日：ターザンの退職記念クラス会 で司会をつとめる。 毎週水曜日にコール・コラーレの練習に 出席 予定...四月九日：授業開始 四月十四日：コール・コラーレ新人歓迎 会 宣伝...人間探究の同人雑誌「ピラト」第 二号が四月下旬発行されます。希望者は 中野君 (十七) まで御連絡下さい。 三好 和憲 (一七) 近況 四月二日、十七期の某氏宅にて爆 発事故に遭遇。僕の身体から半径 2メートル以内で起った爆発 (爆 音が僕の耳の位置で百二十デシベ ル以上) としては4度目である。 予定 五月下旬 五月祭で「安全な」実 験を行う。 六末日 物理学科ビールパーテ イ 七月上旬 工作実習	中野 和明 (一七) 近況 三月二十日より二十四日まで、熊 の湯にてスキーを楽しむ。スツテ ンコロビアニア、顔面制動をすっ かりマスターする。二十五日より 二泊でドライブ旅行。そして今は、 宿題におわれています。 伝言 人間探究の同人雑誌「ピラト」第 二号が四月下旬に発行できるよう に新沢宏君がんばってガリを切っ て下さい。 鈴木 道郎 (一一) ・ちよつとへばってます。 ・やはり、僕のような人間は現場には向 かないのかも知れませんが ・あー、一週間でいいから何もしない でブラブラしていたい。 ・四月十三日、二十七才になりました。 大学の講座で、専攻生5人のうち決ま ってないのは僕だけ...、まア、のんび りやりましょう。 
--	---	---

近刊予告

浅井 幸三(五) 著

かたぎ

『ファン氣質』

(副題・ヴォーカライズの女性たち)
ご希望の方、お申し込みください

このノートには、十二人の女性が登場する予定です。いずれも旭丘高校音楽部かAKCヴォーカライズに籍を置き、委員として、また理解ある会員・部員として活躍した五期から十五期までの人々です。

音楽的素養の全くないAKC時代の私、無力なのに六年間もヴォーカライズ会長を勤めた私を、陰になり、日なたになりして励まし、かばってくれ、なにかと力を与えてくれた女性たちなのです。だから、この人々に対して私はいつも恩義を感じていたし、あわい好意すらいだいていました。「恋」だとも「愛」だとも、そして「友情」だとも、定義づけはしません。けれども、私はやはり、この人たちが好きでした。尊敬もし、精神的な支柱だとさえ信じ込んでいたのです。

「ファン氣質」(かたぎと読んでください)は、実は、三十八年十一月から三十九年四月にかけてノートした旧著でしかありませんが、あらためて筆を入れるよりは、できるだけ原型のまま読んでいた

だいたほうが「Vocalize」百号、またAKC二十周年記念としてふさわしいのではないかと考え、ごく一部の手直しを除いて印刷に付することにしました。

いつてみれば、私個人や、これらの人々を知らぬ会員の方にとっては、無縁のノートではありましょう。それでいいのだと思います。でも、このノートを通して、少しでも私のこと、その人たちのプロフィール、あるいは昔のAKCやヴォーカライズのことが知っていたできれば、このノートを発行する意味は十分果たせるのですし、筆者にとっても、これにまさる喜びはありません。

ヴォーカライズも変りました。それ以上、ひよつとしたら、この十二人の女性たちも変っているかもしれません。ここに書いたのは独身時代の、というよりむしろ、高校時代のある人の素顔でしかないからです。読んでやろう、読ませてもらおうという方は、AKCヴォーカライズ委員会であてお申し込みください。いづれにしろ、私にとっても、実に久しぶりの印刷物なのですから……。そして、たとえ一言ずつでも感想をお寄せくだされば、ありがたいと思うのです。

(あさい・こうぞう)

伊藤真知子(十四) 自分を語り、自分の歴史をつづるのに、異性の友人を通してしたということに、私は浅井さんらしさを感じます。そして、これは、自分を描くのに最も適切な方法かもしれないと思います。私は、そこに浅井さんのよさを見出しはするものの、その繊細さや過去を捨てきれないところが気にかかります。これが出た、ことによりいままでの年月が精算され、その中の明るさだけが残され、未来を直視し、まっすぐ前に進んでいくような浅井さんになられたら、と生意気ながら思っています。

磯貝文江(十五) いままでお名前だけ存じ上げていた方が、なぜか身近に感ぜられました。こんな方々といつもお話のできるような会があったら、どんなにステキかな。

小出富士夫(十八) 人間のつき合いとして、あれだけの人について、よくあそこまで書けたなと思う。浅井さん自身、男の人との程度つき合えるかわからないが、浅井さんという人間をよりよく知る材料にはなったね。

「収録する予定の人々」(いずれも旧姓)

景山幽香子(五) 増田容子(六) 伊□□子

(六) 木村道子(七) 長谷川節子(十一)

神藤敏子(十二) 川村朋子(十三) 伊藤真

知子(十四) 谷美保子(十四) 矢野公子(十

四) 加藤久美子(十五)

昭和四十二年度を省て

精神分裂症患者の八ツ当りの弁

鈴木道郎（十二期）

毎年、花だよりが聞けるころ、この頁から2・3頁は、一年の反省とか、未来についての座談会とか、寄稿だとかが載ることになっています。今度もデッチ上げでかまわないから座談会形式のものにしようなどと言っていたのですが、時間的に無理でしたので、とにかく、会長の責任でこの欄を埋めようということになりました。

日頃の忙しさのため、ヴォーカライズについて深く掘りさげて考えてみたことのない私でしたし、それに、（考えてみたところで結論など出るような単純なことではないのですが）いささか、公私とも自信をなくしてしまっているもので、いったいどういふことになるのか見当もつきませんが、私なりにやってみたこの一年のことどもを、強気に、あるいは弱気になつて、書きならべてみたいと思います。ま、一年分のCHORUSとInventionを一度に読むつもりになつていただけたらいわいいです。

① 一般論敵ヘリクツ

とにかく、そらぞらしいのかしらけてしまったといったらいいのか、一人ですわつて考えてると、いいようのない寂しさ、むなしさに襲われるのです。これが私たちの望んでいた会の姿なのか、少なくとも、私の考えていたものではない、なぜこうなつてしまったのか。

もともとヴォーカライズは個人的なつながりが拡大してできあがったものです。それがよかつたかどうかは今までにもいろいろ言われてきました。しかしながら、何期にもわたつて縦のつながりができるということには、この個人的つながりがあつてこそできたことであろうと私は考えるのです。核とこれをとりかこむ点とがそれぞれ別々に核とつながりをもっている、これが一歩進んで、まわりの点どうしも結ばれる……。こうしてできあがつたのがヴォーカライズだったのです。で

すから、家族的なふんいきだの、誰とでも話ができたのと言えたのです。

十周年記念パーティーの頃、「委員会を中心に」ということを言いました。これは核を一つの輪と考えたからです。あるいは、核を大きくしたと言つてもよいでしょう。この輪とその周囲の点のつながり、さらに点と点のつながり、それを求める体制になりつつあつたと思います。

しかし、不幸なことには、この輪と点を結ぶ線が切れ、あるいは輪が引ッちぎれ、さらに悪いことには、中心になるべき核がつぶれてしまった……。点はバラバラになり、さまざまに動きだす。これがヴォーカライズの現状です。会員は、それぞれ好きなことを言い、委員会としてしかり、互いに反応を示さず、いや無関心であるという意思表示をする。

正直に答えて下さい。「CHORUS」を読んでおもしろいと思いますか？ この人と会つて話をしてみたいと思いますか？ 「私もハガキを書こう」と思いませんか？ この人の話を印刷してみんなに読ませようと思いませんか？

このまま、ただ機械的な操作を続けていけば、まア、ヴォーカライズはつぶれることはないでしょう。しかし、ただ続いているというだけなのです。

② イチャモン

とにかく救いようのないところまで来ています。108人という膨大な、それぞれケイロの違う、19才から33才までという広範囲にひろがった会員。みんなが同じ方向を向いて、同じように動いてほしいなどとはさらさら思ってません。ただ、いつでも、どこでも、誰とでも、気軽に話のできるふんいきがほしいのです。みんなが、もっと自分を前面に出してほしいのです。

具体的に言いましょ。第一に、ハガキを必ず返して下さい。今となつては、ハガキが私たちを結びつける唯一のものだからです。ひと言でいいから書いてほしいのです。

第二に、なんでもいい、どんなことでもいい、変わったことがあったら知らせして下さい。特に、住所が変わったとき。「あて先にたずねあたりません」というのが発行のたびに必ず二つや三つあります。

第三。何か注文があったら、文句があったら、どんな言つて下さい。いっしょうけんめいやったわりには、なんの反応もない、寂しいことです。なんとも頼りないことです。なんらかの意思表示をしてほしいのです。

それから、委員たちをもっと使つて下さい。あなた方の代りに、あなた方の会のために、あなた方が選んだ人たちです。どんなにこき使われても決して文句を言わないはずですし、文句を言わない人を選んだはずです。

私個人として、私を含めて、委員殿にイチャモンをつけたいとおもいます。あなた方は選ばれたのです。たとえ一票で当選したとは言え、その一票があなたを信頼し、必要としていたのです。好むと好まざるとに拘ず、やはり、あなたには働いていただかなくてはなりません。会員たちと連絡をとって下さい。つどいに誘って下さい。委員会に出て来て下さい。一枚でもいい、封筒書きをして下さい。

ヴォーカライズの沈滞の大きな原因の一つには、委員会の中にあると私は思います。なぜなら、会員のつながりの中心となるべき委員会に、委員たちの間になんのつながりもないからです。108人の人間関係を作り育てていかなければならない委員たちの間になんの交流もなされていないのです。久しぶりに委員会に来てたのなら、夕飯でも食べてゆっくり話でもしていったらどうですか。小さな委員会の会話から108人の会話へと広げるためにも。

③ 弁解にならない弁解

ずいぶん勝手なことを…と思われるでしょう。なにもヴォーカライズのハガキだけがあなたに与えられた通信手段ではありません。それに、連絡をとるにしても、いったい誰にしたら一番いいのか、まして隔月発行ならともかく半年も休刊していてニュースでもあるまい等々、あなたの言われることもよくわかるのです。プロフィールはマンネリだし、興味の持てる読み物だつてない、目新しい企画もない、たまにあつても知らない人の話だったり、途中でつぶれたり…。

熱意がないから、やる気がないから、どうせ片手間仕事でやつてゐるのだから…。いろいろ非難はあると思います。今さら弁解はしません。熱の入っていないかつたことも事実だしやつつけ仕事でかたづけてきたことも事実です。原稿依頼の手紙一本書こうともせず、ただ暇がないから、どうせ頼んでもだめだろうから…等々、あたamarca決めてかかったり、手を抜いていたことも事実だからです。ですから、弁解しないのではなくて弁解できないのです。筋の通らないことをしてゐるのですから…。自分で納得のいくことをしてゐないのです。おぎなりで、なれ

あいで…。「もつと自信をもたなきゃだめだ、もつと愚口（愚痴）を言わなきゃだめだ」 私に言ってくれた人があります。でも、どうしても自信がもてないのです。納得できないのです。愚口は言います、でも、結局自分のふがいなさに結びついてしまうのです。ひらきなおれるだけのものが私にはないのです。

④ 「部屋」のこと

今、迷ってます。訳がわからなくなってるのです。いったいなにがどうなってるのか、なにをどうしたらよいのか…。でも、一つだけわかっていることがあります。「ヴォーカライズの部屋」です。連絡すれば、必ず誰かがいる、ゆつくり落ちついて話ができる。たくさん資料も置いておける…。そんな部屋があれば、ト思いうのです。このことは、もうなん年も昔から言われてきたことです。でも、このことは、委員でなければ、実際に仕事を少しでもした人でなければ、それほど切実には考えられないかも知れません。しかし、ヴォーカライズの過去を見て下さい。浅井さんの家、永井さんの家、あの頃はことがうまく運んでたでしょう。

委員たちが気がねなく寄れる、会員だつて集まって来れる。会話がうまれる。ただし、両家の犠牲のうえにたつての話ですが…。やはり、会員の善意、家族の善意をつぶしてしまわなければ、ヴォーカライズは成り立たないのでしょうか。今のままでは、会員相互の交流はもちろん委員たちのつながりだつて薄れていくばかりです。なぜなら、時間を気にしながら、店員に気をつかいながら、十分な話合いもできないで喫茶店を流れ歩かなければならない、そんな委員会しかできないからです。

もうこれ以上「犠牲者」を出したくありません。かと言って、今のままでは…。同期の集まりも簡単に開くことができるようになるでしょうし、作業も細かい点までゆきとどいたことができるでしょう。会員相互の連絡もずっと確実になるに違いありません。私たちも考えます、捜します。どうかみなさんも考えてみて下さい。

⑤ おしまいに…

いろいろな一人でわめきちらしました。ごめんなさい。言葉の足りないところも

多々あると思います。整理もできないままここに書くことは本意でなかったのですが…。

最後に、大切なお願いがあります。それは100号記念号のことなのですが、今度同封したハガキと98号に同封したハガキを必ず返していただきたいのです。今、伊藤真さんを編集長に、浅井さんはじめ委員たちが準備しています。

これがヴォーカライズ最後の発行物になつてもいい、ただ後に残る、内容のある、悔いのないものにしたい、こう思ってます。得心のいくまで打込んでみたい、と思ってます。98号のハガキは会員便覧用のものです。100号の紹介をするためのものです。必ず返して下さい。

四十二年度も終わりました。委員のみなさんにはずいぶん無理を言いました。会員のみなさん、見捨てないでよくここまでいっしょに来て下さいました。お礼を言います。

ヴォーカライズを捨てることはやさしいことです、でも多くの友人を失うことは…。

これが今の、私の心境です…。

報告記

春のつどい？

小出富士夫（十八）

24日 集合 午前九時 名駅構内金の柱

八時四五分金の柱、ヴォーカライズの会員らしき人、誰もいない。九時、だが一人も来ない。それから待ちました、あなたが来るのを。……とうとう一時間たちました。しかしあなたは来ませんでした。だから行くのをやめました。一人じやつどいになりません。非常に空しい気持ちでした。行けないのなら、なぜ連絡に来てくれなかったのですか。なぜ連絡してもらえなかったのですか。あなたの顔を覚えました、写真で。けれどもそれ無駄でした。あなた一人が来なかったために、つどいは中止になり、僕は一時間待ち続けました。

もう二度とこんなことはしたくありません。今度のつどいには是非参加して下さい。そして楽しいつどいを開きましよう。連絡して下さい。見送りに来て下さい。楽しいつどいにしましょう。

プロフィール

水彩画、ボート、長い髪：

なかの かずあき

中野和明君

（十七期）

中野和明君は4人兄弟の末っ子で、陽明小学校・汐路中学校・旭丘高校を卒業して現在名古屋大学経済学部4年生、山崎ゼミナールで金融論の勉強をしている。次に、中野和明君を覚王山の下宿に訪ねた時の筆者との一問一答を紹介しよう。

問「あなたはどこから来たのか、そしてどこへ行くのか？」

答「私は遠方から来た。遠方まで行くのだ。」

問「あなたの信条は？」

答「（ニヤニヤしながら）「何んでも見てやろう」（筆者は具体的に聴きたいところだけれどこらえて）

問「末っ子は得か損か？」

答「愚問だ。ただし気楽なことは確かだ。」

問「あなたが四月九日の授業開始の日に最初にしたことは何か？」

答「東山公園の上池でボートに乗った」（思い出し笑いをする）

問（筆者好奇のまなこで）「誰と乗ったのか？」

シックスシリーズ (82)

中野和明君 (17期)

撮影

写真はこの欄におはり下さい。つごうにより次号に同封します。

答「誰と乗ろうと勝手だ、たち入った事を聴くな」（上目づかいでジロリと見る）

問「あなたのあだ名は？」

答「トルコ。由来についてはデカリ三好君（十七期）IIに聴いてほしい」

問「あなたは女性のどんなところに惹かれるか？」

答「長いしなやかな髪、すずしい目、絹ごし豆腐のような肌……」（誰かの面影が浮かんできたのであろうか、急に顔を赤らめる。）

問「現在、自動車の免許証をとるために自動車学校へ通っておられるそうだが」

答「遠くへ行くためにさ」

問「最近描いている絵は？」

答「写真を頼りにして描く絵を卒業して、只今モデル募集中さ」（P）

プロフィール

日本画、機織り：

あ だち やすこ

足立靖子さん

(十五期)

足立さん、お元気？随分お逢いしていませんね。私が貴女にはじめて逢ったのは、たしか今から8年前の頃だったわ。貴女が腰まで届きそうに長いおさげ髪をして旭丘の門を、くぐった時だったわ。あの髪どうした？ まだ長い毛のまま？

忙しい美術課程に属しながら、素晴らしいフアイトをクラブの為にだしてくれてどうもありがとう。文化祭のポスターや、オペレッタの舞台を描いてくれたわね。たしかヤッコは日本画だったわね。こんな事一号室でよく言っていたの覚えてる？「現在の絵の社会では、洋画は伸び悩んでいるわ。でもそこへいくと日本画はちがうわ！いろいろな手法が開発されてきているの。これからは日本画の時代よ、絶対に！」今でもこんな情熱もっている？

この前ヤッコがすみれ短大で教えているって聞いたけど、おもしろい？一度ヤッコの描いた絵を見せてちょうだい。ヤッコそっくりの、大胆でそしてどこか女性らしい面をただよわせている日本画を。

ヤッコ、今度ヴォーカライズもいよいよ100号をむかえるの。素敵でしょ。そしてね、その100号記念の表紙をヤッコに是非描いてほしい。いいでしょ？いずれくわしい事は電話でお知らせするわ。貴女の腕をふるって描いてね。お願い！ヤッコ、これからもいい絵をたくさん描いてね。さようなら。(F・I)

いつだったか忘れたが、手織りの羽織の紐を織ってるって聞いたけれど、今もやってるのかい。帯はどうしたの。髪はまだ長いのかい。すみれで何を教えているか知らないけれど、女の腰かけ仕事にしてほしくはないな、期待してるよ。(M)

シックスシリーズ (83)

足立靖子さん (15期)

撮影

写真はこの欄におはり下さい。都合により次号に同封します。

Invention

○皆様お元気ですか。ヒマな春休みを利用して89号の一部をガツてみました。簡単そうに見えてもなかなか難しいものです。ね。太字をぬりつぶすと穴があいてしまったり、勢いあまって字が横に飛び出したり。読みづらい所があるかも知れませんが。何しろ初めての事です、悪しからず。○会計ノートを眺めていると、支出欄ばかりにぎやかで、お札の顔は減ってくるし、全く悲しくなってきました。会員の皆様一人一人の心づかいと、お金がヴォーカライズを支えているのです。あなた一人が欠けてもヴォーカライズは成り立ちません。さあ、今すぐ会費を払おうではありませんか。

○新年度になりました。授業表を見ると、あちらを向いても、こちらを向いても、化学、化学、化学。好きなこととはいえきびしい限りです。それでも夏休みには、水質検査のため温泉か海へ行く予定があり、地学の野外実習もありますので今からとても楽しみです。

(K・U)



AKC VOCALIZE no.100

JOURNAL of AKC-VOCALIZE

2013.4.10 digital reproduction

タイトルは98号などをもとに新規デジタル作成しました

ヴォーカライズ 100 号の複製

2013 年に、ヴォーカライズ 100 号の原紙が保存されていることを知りました。先日、それをお借りしてスキャンしてみたところ、いくつかの場所にカビの発生や原紙の劣化で読みにくいところがあるものの、ほとんどの部分はきれいに保存されていることがわかりました。

前頁は、その原紙の画像の例です。スキャンして、白黒を反転、コントラストや明度を調整したもので、ゴミの除去などの手を全く加えていません。

もし、100 号が発行されていたなら、このようなものが、お手元に届いたはずで。ただ、用紙サイズは A4 にしました。前述のように読みにくい所がありますから、このたび入力したものを作りました。入力ミスや解読ミスなどあるかと思いますが、こちらの方がお読みになるのには楽かと思えます。

なお、入力したものではありません。数字、英語、括弧、コーテーション他、の文字・記号が一部かわっています。記事の配列は変えていませんが、段替えなどは、変わっています。誤りがあれば教えてください。と幸いです。岡

ヴォーカライズ 100 号

推定目次

太字は原紙にある項目。
それ以外は推定

会長あいさつ.....	1
担当者のことば.....	1
コーラス.....	2
座談会「Vocalize 100 号 十二年半のあゆみあれこれ」.....	8
Vocalize 各号からの抜粋.....	16
AKCヴォーカライズのあゆみ.....	40
Invention.....	44

原紙は「各号からの抜粋」(仮題)の途中で中断しています。各ページに四号分を紹介しています。99 号までで少なくとも 39 ページに達するはずですが、「号外」「特別号」もあるし、逆に欠号もあるので、多少違うでしょう。99 ページの「抜粋」で唐突に終るとは考えられません。詳しくは最後のページに。
100 号は、その原紙の配列から見ても、それまでの折り方(全体を揃えてから二つ折り。)と違って、一枚毎に折ったものを重ねてホッチキスで止めた形が企画されていたようです。この量だとそうするしかないでしょう。
このページは創作です。岡

CHORUS



「二段目未記入」

ここには「コーラス」題字とイラスト、それに①から③までの質問が記入されるはず。質問が何だったか、以下をお読みになって推定して下さい。ご記憶の方、いらっしゃったら教えて下さい。

私の推定

①ヴォーカライズが100号に達しました。このことをどう感じられますか？

②送られてきたヴォーカライズの記事のうち、一番興味をもってお読みになったところはどこですか？

③これからのヴォーカライズに何を期待されますか？

岡
題字とイラストに代わる写真を創作しました。写真は当時のAKCバッジです。

加藤 幽香子 (五)

① 一号からの愛読者にとって、100号とはよく続いたものと感心し、そして、自分の年齢をつくづく思い知らされたような、まことに妙な気持ちです。一号室に詰めこんでピアノをたたき合っているころ、だれが現在のことまでそうぞうしたでしょうか。「ヴォーカライズ」ということを耳にするとき、わが家では、あのころの楽しさをきのうのように思い出しています。いまはその延長線、これからも続きますよう。いずれそのうち。わが家を新築しましたら、毎月の委員会でも全員のクリスマスパーティーでも、なんでも引き受けるつもりです。建築資金ご寄付くださる方イナイカナ。

② 毎号楽しみなのは、全員の近況、予定 etc. かつての一号室人種も音さたなしとは淋しい限り。

③ いままでのヴォーカライズ、さまざまな苦労があったことと思います。が、一番の問題は委員の集まる場所がないことではないでしょうか。気がねなく何時間でもプランを練る場所、どこありませんか。それから、この辺で一度会員数を締め切ったらいかが。

むやみにふえるばかりでは固まりませんよ。

藤井 容子 (六)

① 100号を記念して解散しよう！自分でもためらうほどの極論ではあるが、何年も会費未納の人、各種はがき回収率の低さ、編集後記のグチ…。この辺でなんとかしてなんとかならないときは！気が短くてドーモスイマセン。

② 興味深いのはコーラス欄、旭丘のニュース（音楽に関係なくてよい、全般的ニュース）。

③ プロファイルの写真は次号に同封しないほしい。間に合わせるべきだし、出来なければ記事も次号にのせるようにしてほしい。

鈴木 知子 (七)

① キセルのところもしばしばありますでしたが、まあなんとなくよく続き恐悦しごくに存じます。たいへん関心を持っていましたし、来るのをいつも楽しみにしていますが、あまり積極的な

会員でなくて申しわけありませんでした。

②私の愛読欄はコーラスー 期の数字の若い人（つまりお年は反対にたくさんの方）は、みんな思っていることが同じようなのをも一つ持つてゐるようで、ヤレヤレしたりニヤニヤしたり。33号の鈴木道郎さんの手記、そして小出富士夫さんの春のつどい報告記、読んでいてトテモかわいそうで悲しく思い、浅井幸三さんのときも同じようなことだったなあと、思い出にも浸りました。

③Aブロックの人、少なくなっちゃったのね。なんだかサミシイ。ミナサン、元氣出しましょう。コーラスのところはAブロックの人の名前が見えると、だれかれなくなつかしいワ。知らず知らずのうちに読むのに熱がはいります。名前だけでも生きてることがわかりますから、セッセと返信してくださいますように望みます。ーそうすれば読むのたのしくなるジャンナイーそうすれば読者がふえて盛況になるジャンナイーそうすると作る人も張り合いが出てハリキルから内容も充実するジャンナイーそれでまたまたミナサンがコンナにイイ“Vocalize”が安く読めるなんてウソみたい、ワタシもはいりたいワ、はいりたいワ、コンナ安い会費じゃもったいないから、たくさんたくさんキ

フさせてエ……つてことになって、財政も豊かになるのヨ。そして、もっともつとよい“Vocalize”のヨメルようになるのヨ。

高原 敏子（十二）

①一口に100号といっても、いろいろとたいへんだったと思います。よくがんばってくださいったことと思います。及ばずながら、少しでもお手伝いできる日が早くきますように。

③長く長く続いてほしい。

藤野 絢（十三）

①おめでとうございます。もうやめちゃったのかと思うとボンと来たり……。でも100号になるなんて想像もつきませんでした。ガリバン刷りの読みにくい字を、タテヨコひっくり返して読むのが価値あるんですね。楽しんでいきます。ズーッと続けて下さい。②プロフィールを楽しんで読んでいます。どこかでみたことのある人だなあと思うと、大体このプロフィールでお目にかかっているんです。

多田 朋子（十三）

①「おめでとう」心からお祝い申し上げます。会員の皆さんに会って大きな声で「校歌」を「サリマライズ」を歌いたくなりました。何度かつまづいても立ち上がるヴォーカライズ、これからも長く続くよう祈ります。いや続けさせましょう！いままでのたくさんさんの委員の方々、ほんとにご苦労さまでした。

③毎年の赤字、気になります。「〇年以上未納者は退会したものとみなす」とかいう会則つくったらいかがですか。それとも何らかの方法で臨時収入を考えて、できるだけ早く正常な会計内容になるといいと思います。いい手段があるといいですね。

プロフィールの写真、遅れているのがとても残念です。せつかくの紹介文もそしてせつかくの写真ももの足りない気がします。写真が追いつくまで休んでもいいと思います。

早川 礼(十三)

③ シックスシリーズは、時間的、空間的に広範囲に及ぶ会員がお互いに知り合う手段として、たいへん有意義なものと思います。ただ現在、紹介文と写真がずれて送られています、同時に届いた方がより印象強いと存じます。紹介文を一度お休みにするか、または写真の方を急いでいただいて、一致させてはいかがでしょうか。

佐藤 征夫(十四)

① ヴォーカライズの仕事をすべて委員の方々に任せっぱなしで申しわけありませんが、どうぞ100号はりっぱなものにしてください。楽しみに待っております。

② 日ごろはほとんどヴォーカライズのことは頭にありませんが、それでも機関誌がくるたびに同期の方々の記事(その他私の知っている方々も)を読ませていただき、なつかしく高校時代を思い出します。

③ 委員の方々にはたいへんご苦労でしようが、どうぞヴォーカライズが、いつまでも続くよう、がんばってください。

さい。私もこれからはできる限り記事を送ります。

具島美保子(十四)

① ころんだり、つまづいたり、でも、これまでほんとうによく続いたものだと感じております。名古屋在住のヴォーカライズの皆様のお力だと、心から感謝せずにはいられません。主人ともよく話すのですが、ヴォーカライズのような集まりって、あまりほかに例がないのではないのでしょうか。それだけに、この会の会員であることに私は喜びを感じ、これからもずっと続いていくことを心から祈っています。遠くについて皆様にお目にかかることも、なく、お手伝いもできませんのがほんとうに残念で、申しわけなく思っています。

② 最近なくなってしまうって残念なのですが、歌の紹介。楽譜付きだったの、とても楽しみでした。

③ とにかく、あまりごぶさたにならない程度に、ヴォーカライズが私たちの手元に届きますように……。

江尻 杏子(十五)

① 委員の皆様、ほんとうにご苦労さまでございました。これからは、私も心を入れかえ、できるだけ協力いたしますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

③ 昔ばかりを思い出し、アレコレいってもしかたない。年を取ってふけ込んでしましますもの。これからのことを考えましようよ。プロフィールについて一言。彼は高校時代：彼女は高校のとき：高校時代のこと必要ですが、もっと現在のこと、そして将来のことについてもたくさん知りたいと思うのですが、いかがでしょうか。

磯貝文江(十五)

① 100号おめでとうございます。何度か危機が叫ばれても、どうにかここまで続いているこのヴォーカライズ。100号を一つの区切りとして、新しいスタートを切りたいと思います。もう一度、全員の一人一人が自分たちのヴォーカライズだという考えを確認し、ヴォーカライズを盛り立てていきたいと思ひます。

③会員が自分の義務を果たすこと。

内藤 毅(十五)

①記念すべき「100号」を機会に、いっそうヴォーカライズが発展することを祈る。

③鈴木さんはじめヴォーカライズ委員の皆さんのご苦労に対して厚く感謝の意を表するとともに、今年度の新役員の人々にもがんばってくださいようお願いいたします。

江口 一彦(一七)

①ぼくがヴォーカライズに入れてもらったのは、四十一年の秋だったと思います。一七期の連中と個人的に知り合いだったこともあり、よそ者のぼくが、この活動に賛同して入会させていただいたのでした。京都にいる関係で、あまり活動はできないけれど、手元に届くVocalizeは毎号とても楽しみです。次号で100号ということですが、りっぱなものを作っていたくださう期待しています。

②CORUS…毎号楽しみ。

INVENTION…編集者の個性の

発露。

巻頭の詩：バラエティーがあつておもしろい。欲をいえば創作もほしい。皆さん投稿なさってはいかが。

③マンネリズムの打破、定期的に出すこと、会員同士の討論の場にもなるようにしてはいかが。

新沢 宏(一七)

①ここまで続けてきたことに対して、いままでこの会の運営に力を尽くしてこられた方々に「ごくろうさまでした」といいたい。また「非協力的だ」「無関心だ」「早く会費の納入を」などといわれながらも、この会を続けられた人々をも評価しなければと思う。この会の目的・意義・事業内容について批判も多くあるけれども、それによって挫折することなく、この会(機関誌)を、これからも続けていくという方向において批判にこたえ、またいっそう充実したものになることをヴォーカライズに期待する。

②私が持っているのは80号以降の

二十号であるが、つどいの報告記が印象に残っている。海水浴、十周年パーティー、恵那峡、クリスマスなどの報告は、どれも楽しい記事だと思う。プロフィールについては、紹介の方法にいまひとつのくふうがほしい。読ませる記事をお願いしたい。もう一つ忘れてならないのがインベンション。これには掘見深いものが多い。

③まずこれからも続いて発行されること。ただし、これまでのように個人の犠牲の上に成り立つのではなく、この事業が軌道に乗っていくように考える必要がある。それには、「たまり場」の問題、会員の積極的協力、委員の熱意などの問題が解決されなければならぬ。プロフィールの写真は遅れることなく、できるだけ記事のある号に同封してほしい。最後に印刷をもっと読みやすいものにしてほしい。五十歳過ぎて老眼になってからが思いやられる。

中野 和明(一七)

①100号という数字の重みはまだ小生には実感としては感じられないが。

Vocalizeを100号まで持つてこられた諸氏の苦労は感じられる。というのも、小生たちの企画している雑誌の2号がなかなか発刊されないのをみてもわかるというものである。1号が10号に、10号が100号に100号が1000号に……というように、100号は一応の区切りであるが、それは同時に1000号への出発でもある。換言すれば、100号発刊を祝すと同時に、100号までの反省、それからの飛躍だと思う。しかし、その飛躍は百余人の会員、これからもふえてくるであろう会員全員によつてなされねばならない。さあ、連帯を強め前進しようではないか。 ②CHORUSの欄ほどおもしろいものはない。そこには年齢差からくる興味の対象の差異が感ぜられるからである。ある年代は仕事、旅行、勉強？に興味をもち、ある年代は結婚に、そしてある年代は育児に……。それら各個々別々なものが、全体としてうまくハモッテイルと感ずるのは小生だけだろうか。また直接には顔を合わせたことのない諸先輩、諸後輩とのinvisibleな連帯をCHORUSは思わせる。 ③できるものなら、前述したinvisible	bleな連帯がそれだけにとどまらず、visibleなものになるように望むものである。 末永 裕之（一七） ①よくこれまで続いたものです。関係してみえた方、ほんとうにご苦労さま。これからもますますがんばってください。 ②毎回なつかしく拝見させていただいています。CHORUSなどの欄で、めったに顔を合わせる機会のない人の、それぞれの場ががんばってみえる様子を知ることのできるのは、うれしいものです。 小出富士夫（十八） ①簡単に100号100冊といっても、これは決して一人でできるものでもないし、百貨店で一万円出しても買えるものでもありません。ヴォーカライズの会員の誇るべき宝物にあたる大切なもの。99号の次は当然100号。しかし、この当然100号は、当然以上の何かを意味しているようです。今後200号、300号と続くことを信じ、そ	う願いたいものです。 ②くだらないくせに一番味がありおもしろいもの――INVENTION 続けてほしいもの――AKC二十年史 ③2ページでも4ページでも、休まず発行しつづけてほしい。 広地 千曉（十八） ②とり立てていうほどのものはない（印象がうすい）。 ③ヴォーカライズとは何なのか、というところが実感として把握できていないので、なんともいえない。 片山真知子（十九） ①よく続いたものだと感心しています。ここでバックしたりストップしたりしないで、ケタが変わるまで（まだじゃなくてもいいですよ）続けてください。いままでの非協力的態度を改めようと思います。 ②いい方にも悪い方にも印象に残ったものが全然ないのかあるのかわからないくらい覚えていない（これは
---	---	--

どうも読み方が悪いらしい)ので、委員の方々に申しわけないと思っています。

③おとしよりもこどもにも(ゴメンナサイ)楽しめるものをつくるのは、ムズカシイことだけれど、ガンバツてください。

鈴木 道郎 (十二)

①99の次は100と、昔から相場が決まってるので、いまさらどうってことはありません(ということは、あまり熱がはいってなかったということでしょうか)。

いまになって「100」を振りまわすのは最後の「悪あがき」をしてるようで、こっけいな気がします。

ただ(Vocalizeがこれから長く存在するとして)歴史の一つの節としてみた場合、いままでの総決算としての「100」を大切にしたい気がします(どれだけの人がVocalizeを受けとめるかによって「100」の意味も変わるのは当然でしょう)。

②CHORUS、INVENTIONを一冊にまとめてみてはいかが。CHORUS

を会員別にまとめるのもいいと思う。園部さんの「ヴォーカライズと私」。いまでもときどき読みかえます。

室生寺の報告記。記事そのものよりもああいふこと(一連の事件およびその処理)ができたムードというのが、私にとっては正直いつてうらやましい。

③会員をむすびつける唯一の手段にはちがいないが、いまのようなことのくりかえしならば、もう発行しない方がましでしょう。いまのうちにつぶしといった方が傷つく人間が少なくてすむでしょうし。

浅井 幸三 (五)

①数のうえだけでこれまでの道程を価値判断するのは、あまりいいこととは思いませんが、1号から50号へ、そして100号への苦しい道のりを知るだけに、感無量のものがあります。少なくとも私にとっては、なんの意味もない「明治百年」よりはずっとずっと大ニュースです。はつきりいつて、よく続きました。苦しみながらも、投げ出さずにあとを引き継いでくれた若手の委員諸君に、心からなる賛辞をさ

さげます。これで内容がもう少し充実すればいいことはないのですが、書き手が少なすぎる、いまのヴォーカライズではやむをえないかもしれません。

②東京だより、ほたる草、ロンドン通信などの連載もの、筆者の労苦を思

高田靖子さん、藤井容子さんの小文、明快で心あたたまる文章をかう。

会員インタビューの中絶は残念。プロフィールは方法を検討する時期にあり。隔月刊のいまではCHORUSにも難点がある。

③企画性を発揮すること。いたずらに過去のスタイルにとらわれず、新しい方針で臨むこと。会員の寄稿を多くするため、新鮮なねらいでアピールするよう対処すること

座談会

V O C A L I Z E 100号

十二年半の歩みあれこれ

「Vocalize」100号とはいっても、1号から読んでいる会員はおそらく八期か九期くらいまでの人に限定されるはず。いまさら昔ばなしでもあるまいが、100号の歩みを思い返してみるのも、まるで筋違いのことではあるまいというので、これまで主として編集にたずさわったメンバーが集まって話したのがこの座談会の記録。森本君（十）はつごうで、安田君（十三）は病気で、それぞれ出席できなかった。

Ⅱ 出席者 Ⅱ

伊藤真知子（十四）100号記念特集編集長
51号から編集部員あるいは委員として活躍した女性会員のホープ
小出富士夫（十八）昭和52年度副会長
80号から編集部に加わり若手の中心メンバーの役割りを果たした
鈴木 道郎（十二）昭和42年度会長
編集にタッチした最初は55号、以後会長としておなじみ
浅井 幸三（五）100号記念特集編集部
創刊から73号までの編集に関与した

89号まで九百二十八ページ

鈴木 100号を記念してまず乾杯しよう。
浅井 100号まで積むと何センチくらいあるだろう。

鈴木 僕は13号から持っているけれど、ひっくり返して十五センチから一七センチくらいあると思うな。（ただし、のちに編集部が実際に計って見たら約八センチしかなかった）

浅井 じゃ、一番ページが多かったのは？

伊藤 二十四ページが最高よね。十周年記念号と室生寺の旅報告記のときの二回がそうだった。

小出 89号まで総ページで九百二十八、わら半紙をずらりと並べると一人当たり約八十六メートルになる。

鈴木 それを刷るために手を動かした回数に換算すると、これはえらいことになる。

浅井 だけども、100号、100号といっ

ても、欠号があるんだ。これをはつきりさせておかないと責任のがれになる。

鈴木 欠号は65,76,92の三回だよ。

浅井 よく知ってるね。

鈴木 ふしぎと、ぼくが一枚かんてるときに多いんだ。責任を感じちゃうよ。

伊藤 そうよ、65号なんて私のほうは原紙が切ってあったんだもの。あれ、分担制になってからね。

浅井 でもおもしろい。うかうかしていると、当時は月刊だから、次の追い抜かれちゃうんだ。二度あったね。62号が61号を追いつき、63号が64号よりも先に出てしまつて。二度ともぼくが追い越した組だった。

鈴木 だから、そのあとは追い越されると欠号になってしまった。

浅井 号外もたとえ二ページとはいえ三度出ているし、それに十周年記念号を加えれば正味ではもう100号になっているわけだ。

鈴木 号外にナンバーをふってあげばもうとつくに100号記念はすんでいたね。

20号からやつと編集部制誕生

小出 ところで、三十一年一月に1号が出たわけでしょう。古い方から話をす

るとして、きつかけはいいたい何だったんですか。

浅井 いきさつを話すとずいぶん長くなってしまうけど、昭和二十七年の最後にAKCの初めての部誌「アカペラ」が出たんだ。随筆や行事、練習曲目、名簿など、とにかく年間の記録を残そうという目的だった。そして、二十九年六月に、この会の前身であるAKC同好会が発足して、夏に座談会やら随想やらを集めた「アカペラ」第2号を発行したんだね。今度はもちろん同窓会誌としてだけど。

鈴木 それがAKC史や人物往来の載っているやつ？

浅井 いや、第1号の方だよ。まあ、それはともかく、この同窓会なる組織が会費も取らない、四期以降の全音学部員の会などという不明確な性格もあって三ヶ月ほどで自然消滅しちゃってね。三十年の春に名古屋へ戻ったぼくが、またみんなに呼びかけて、会費制（当時は五十円）で始めたのがAKCヴォーカライズというわけだ。ちょうど鯨光館が建設されていて、音楽部の発表会も完工式の三十一一年一月に延期になった。じゃ、いい機会だから「アカペラ」第3号を出そうというので、原稿を募ったのだけど、集まらないんだね。しかたがないから、来

ただけでもというので、発表会当日に渡すために作ったのが「Vocalize」第1号だった。ほんとうは会の名前といっしょじゃないやだから、ぼく自身は「ヴォーカリス」と読むつもりでいたんだけど、当時の加藤会長（四）が同じでもかまわないといってくれたので、「ヴォーカライズ」で通すことにした。

小出 すると、1号は三十一年一月に発行されたわけですね。以後定期的に出たのですか。

浅井 と思うでしょう。それがそれが：（笑い）。三月に2号を出して、また会が消えちゃった。しかたがないから再建委員会をつくって六月に呼びかけ用の3号、そして初めての公選で委員が選ばれたのが九月末。結局今のスタイルになったのは三十一年十一月の4号からということなんだ。はじめの計画では隔月刊だったのが月刊になってしまった。

伊藤 いまと正反対ね。

小出 当時はだれがやっていたんですか。

浅井 50号くらいまでは、ぼく一人で編集やら印刷やらしていた。がらりと変わったきっかけは、やはり50号記念（三十六年一月）のために編集委員会ができたことだろうね。それと、三十五年十二月に、いわゆる編集部員（選挙で決まっ

た委員以外から有能な人材に依頼する制度）を置くことになって、その網にまずひっかかったカモが、永井君（八）とここにいる伊藤さん、鈴木君…。

伊藤 浅井さんから変な手紙をもらったのよ。脅迫じみたことが、はがきにぎつしり書いてあるから、私はびっくりして浅井さんの家へとんでいったの。それがもとね。純情だったのよね、そのころは。

浅井 伊藤さんが書いたプロフィールに驚いてさ、この人引き抜いちやおうと矢野さん（現姓高阪）（十四）に相談したら賛成してくれた。道郎君のほうは、50号にえらそうなことを書いているから、こいつも入れちまおうといういきさつだった。

鈴木 あのころは、ちよつと変わったことを書くとき目をつけられて、うまいことごまかされて編集部へいれられたっけね。

伊藤 とつてもこわかったのよ。あのころの浅井さん。よく学校へ来て、クラブの練習のときでも黙って、すみっこのほうで書いていて、あとでいいたいこというでしょう。

浅井 新入生にはよく先生と間違えられたよ。学校へ行くと、一年生なんかはまだよく先生を知らないもんだから、み

んがおじぎをするんだ。恥ずかしかったね。

鈴木 あんなこといつてる。とにかく厚かましく旭丘へ来たくせに。(笑い)

伊藤 でも。あれだけよく通ってくれたから、在校生もなんとなくヴォーカライズにはいったし、あのころはすごく張り切ってた。

浅井 松沢君(六)の51号に寄せることばというのも、すこぶる効果があつたね。ちょうどぼくが出張で53号には全然タッチしなかったのに、コーラスのはがきが一度に載せきれないほど返ってきた。

伊藤 そのころは、比較的若い人が働いたでしょう。ぶらぶらしていなかったのね。一人を中心としてできていて、高校生の働きもあつたから順調だった。関係のない人でもわりと委員会にきたの。

問題を残す編集分担制あれこれ

小出 1号が三十一年一月で50号が三十六年一月でしょう。ちょうど五年ですね。それから100号までは七年半もかかっているというわけね。

浅井 月刊で50号まで五年かかったのも、おかしいといえばおかしいけれど、初めの半年は計算外としてもいいし、毎

年、ヴォーカライズには秋休みというのがあつて(笑い)ぼくが病気になると思わず出なくなったから、当然といってもいいね。

伊藤 今でも同じよね。はじめは景気がいいけど、秋になるとくたびれてしまう。

鈴木 悪いことに試験とぶつかるからね。いっぺんに休み癖がついてしまうから、あとで追い込むのがたいへんだ。

浅井 54号、つまり三十六年度から編集分担制が生まれた。これがまた愉快だね。50号ころまでは月末あるいは月の上旬に出ていたのがだんだん遅れてくる。演奏会案内なんて半分以上はすんだあとでどうしようもないというので、翌月のメモという欄まで登場した。

伊藤 分担といっても、完全分担制でなくて、原紙を切らない人もいたわね。結局、その号の企画と原稿集めをするのが目的。最後になると浅井さんに泣きつく組もあつたよね。

浅井 完全に狂ってしまったのが57号と58号の間の四ヶ月。全然何も出なかった。ぼくが倒れ、編集分担者は動かない。いやな時代だった。

鈴木 その分担制が途中で変わっていると思う。軍ちゃん・安田君(十三)のときからじゃなかったかな。一人の手に

原稿を集めて、みんなでガリ版切りしたというのは、

浅井 小出君はいつから引つ張り込まれたの。

小出 50号から顔を出しているね。

伊藤 とにかく50号すぎでから助手が一人ずつつくことになったでしょう。それがくずれてなくなったわけよね。

鈴木 森本さん(十)のころは編集はどうなっていたかな。原稿をその人のところへ集めて、その人が刷つてというスタイルだったね(伊藤さんうなずく)。どうしてもだめなときはそれでつぶれたの。

軍ちゃんの時代になって、一応原稿をそこに集めて、ガルのは分担にしたわけよ。割り付けだけやって、みんなへ配ってガッて、それを永井さんのところへ持ち寄った。みんな一応まじめなもので、土曜日の夜にガッてきて刷り上げたわけよ。たまたま何かのときに原稿が行くえ不明になって、そこでガッたことがある。

伊藤 そのうち、当然やれるものもやらなくなった人も出てきて、だんだん委員会の席でやる□□□なつてしまった。「三文字不明。たぶん「こと」に」

鈴木 ぼくは永井さんのところで徹夜したことが二度ばかりある。あくる日の夜中までかかった。二時ごろまでやっていてたまらなくて寝てしまつて、放送で

きるまでやったのはあくる日の夜中だったね。それでも苦痛に感じなかったからね。

陰の協力者の有無が活動を左右

伊藤 永井さんの家がすぐ協力してくださってね。だからできたのよ。

鈴木 悪い癖だね。ヴォーカライズというのは、あいている空間は全部使わなきゃならぬという気があったのよ。

伊藤 それに、しゃべっている時間が長くてね。

鈴木 ぐちがなくなったのはそのころだ。

伊藤 浅井さんがいなかったから、ぐちが出なかった。でもね、一番上が永井さんで、みんな適当に冗談をいいつつやっていたのね。たまに浅井さんがみえるとビリビリしちゃって、冗談もいえないから、浅井さんに仕事をいつけて適当にサボっていた。

鈴木 こういう新人（小出君のこと）が網にひっかかってきた。ああいう場所がないと新人というのはひっかかってこないね。

小出 強引に飛び込まされたけれど、幸運だったと思う。やったことはすごく

プラスになったよね。

伊藤 交際範囲も広いし、おかげでいまたくさんあるもの。

鈴木 あそこ（永井さんのところ）やっぱりありがたかったね。あの当時はいまほどありがたみがわかっていなかったけどね。

伊藤 めいわくをかけることがすごくあったから……。で、浅井さんの夢がいつも出たけれど、やっぱり浅井さんが結婚しなきゃだめね。

鈴木 結婚してもだめだ。離れをつくってくれて、いつでも、どこからでも、はいれるようになっていなきゃだめだ。

伊藤 そうでもないと思うけど。

鈴木 浅井さんが独身ならいいよ。

（編集部注Ⅱ浅井さんの夢：とは、早く独立して自分の部屋を持ち、ヴォーカライズの事務所としての機能を備えたいと、かねていつていたのをさす）

鈴木 永井さんのところまでだめになった。パーティーそのものが甘えていたのだ。十周年パーティーが終わったときに永井さんが泣いて喜んでくれた。話してね、ほんとうに泣いちゃってね。永井さんが家へ一式持ってきたのが四十一年の二月中ごろだった。ヴォーカライズをやめるといつてね。

伊藤 そのすぐあとで私も実質上やめたのね。

お人よしぞろいの編集委員会

鈴木 道具がいまはうちにあるわけよね。それでうちでやり出した。原稿をパッと散らせてまた戻すというのが十周年パーティー前近所でくずれたわけよ。やっていると間に合わなくなるから。たまに、忘れもしない四十一年五月十六日なんだ。うちで一番初めに刷ったとき、若い連中（一七期）が来てくれた。一七期のめんどうをみるのが十八期の富士夫君のはずなんだ。体制としては一応もとの編集分担制へ戻したわけだ。でも、うちは寒いし、狭いしで、委員会ごとに使わけないかな。

伊藤 だんだんやりづらくなったのねそれで…。

小出 委員会も宿なしで風来坊だね。

伊藤 私はそれで気分がよくなかったの。浅井さんとか永井さんとかの家でやっていたときは気楽に騒げたもの。

鈴木 結論としてはやっぱりそういうのがあるんだ。陰の力がいるわけだ。その家の人の協力がね。

小出 機関誌の中身も若いのかたよってしまったね。

鈴木 永井さんがいてくれたときは、永井さんの顔が上にもきいたけれども、私は上の方にも全然つながりがないもので、それでしょうがない。

浅井 けどね、いつの反省会だったかに、若手の諸君がプランを出していたじゃないか。積極的に上の期の人をインタビュして、つながりを深めようとき。

計画だけで実行しないなんていけないよ。

永井君あたりは、だれのところでも気軽にたずねていったね。それと、委員会のふんいきもつと変わっていて、たとえば十年後の会のメンバーの集まりがあると、若い委員を連れていったものだ。

鈴木 永井さんのようなふんいきを持つているのがこの人（小出君のこと）だよ。その点でとても期待してたんだ。

伊藤 私がやってたころは、私が、十五期が一番下だったでしょう。いいこといって適当にやっていけばよかったのね。海へ行ってから初めて委員会へ行ったら、下の人ばかりじゃない。

浅井 陰の力ということでもう一つ必要なのは個人的なファンというか、支援者、理解者だね。発行がストップしそうになつているときに、その人に励まされたり、とくに原稿を送ってもらったりす

ると、どうしても休めなくなる。ぼくの場合、いたって女の人にヨワイものだから、ずいぶんそういう人に助けてもらった。道郎君もそういう相手をみつけなきゃ…。

鈴木 だめなんだな。どうしても気が弱いし、なかなかそういう気にもなれないし。

小出 でも、ことはガラリと方針を変えて、結婚の相手を捜すはずじゃなかった？

鈴木 そんなこといわないよ。

浅井 ボヤボヤしていると、ぼくの二の舞いになるよ。大体、ヴォーカライズに一生懸命になる人は少しずつ似てきちゃってね。永井君、森本君、道郎君、安田君もそうとは断定しないけれど、気が弱くって、ほれっばいくせに、奇妙にふんざりが悪くてさ。なんだ、みんなまだ独身じゃないか。

鈴木 女の人だけ、さつさと引退して、男だけ残ってしまう。浅井さんのまねしてるわけじゃないんだろうけど。

浅井 100号記念に真知子さんのこと書いておうか。

伊藤 いやよ、まだだめ。

小出 でも「Vocalize」って、結婚のニュースは載るけれど、離婚のニュースなんてちつともないね。

浅井 あれ、悪いのがいるよ。みんなが離婚するのを待ってるのかい。（笑い）

自分ひとりで企画したかった

浅井 こういうことはやって見たい、やりたかったという経験とか希望は？

伊藤 全部自分一人でやってみたかった。企画するの好きなのよね。自分の世界で、全部をまかせられてやるということが、やれる時期にそれがなかったでしょう。学生時代と違って、社会に仕事ができちゃうと、ヴォーカライズの比重が小さくなるでしょう。自分がやれる時に、もつとああいうことをやりたかったの。いつも寄せ集めだったから。

鈴木 全部、自分で企画するの？ それもいいね。

伊藤 自分の企画だね。委員会とかそういうことなしにして、それこそ違ったアイデアだね。昔、浅井さんがやっていた、ああいうことやリたかったの。

鈴木 分担制やるのだったら、それくらいのこと、やらしてもいいと思うな。

伊藤 あのところは委員会がしつかりできていて良心的だったから、やりたかったわ。いまじゃ、とてもじゃないけどできない。

小出 ぼくもそういう企画をしてやってみたいとは思うけどね。

浅井 分担制にしたのは、そういうねらいもあったはずなんだ。遠慮しないでやればよかったのに。

伊藤 ただしよ、そういうことをやったときに、浅井さんの目がこわかったの。やりたいとおもったけど、いざとなるとね。

鈴木 甘やかさない人だからね。

伊藤 たぶんいいだろうとは思っても、それだけの自信もないしね。

鈴木 きびしいこというんだ。あまりほめてもくれない。

伊藤 永井さんたちと比べると、生みの親と親戚くらいの差がある。

浅井 冗談じゃない、あんまり年より扱いするなよ。注文はずいぶんしたけれど、そんなにいじめた覚えはないよ。伊藤さんなんか、むしろ、こつちがいじめられたくらいじゃないか。(笑い)でも親近感というのは、ヴォーカライズのうえからもなくってきたね。50号を中心に、あのころは外部の人にもすごく人氣があったね。ニュース、切り抜き帳、

合唱団めぐり、特集の連発、とにかく楽しかったよ、やっていても。

伊藤 そうね、みんなが友だちに自慢してみせたりして、うらやましがらせて得意になっていた。

グチをいおう、自信を持とう

浅井 ぼくは道郎君によくいったんだ。もつと自信を持て、ぐちをいいたいときにはいえばいいんだ。だから、こんど(66号)のぐちはいいと思う。はね返りがないなんて失望する前に、もつと文句をいうべきだよ。

小出 はね返りがいまはないというのは、何もやっていながらということになるんじゃないかな。

鈴木 返ってこないこと自体はわかるのだ。

伊藤 みんなが一体どの程度読んでくれるのかもわからないわね。昔は、はがきに先月のあの企画はよかった、だれの文章がよかったなどと書いてきてくれたのにな。

浅井 そうだね。年度終わりには印象に残る記事、これからほしい記事といったアンケートもしたし、「会員の声、委員の答え」もそれをもとにしてやっていた。

小出 ぼくは、ヴォーカライズのための機関誌じゃなくて、機関誌のためのヴォーカライズになってしまっているのが残念だね。

鈴木 そうともいえないんだ。あなたの年には、ぼくもそれを考えた。50号かなんかにそういうことを書いたり、いつたりしたけどさ、自分でやってみて、こういう形でもやむをえないということがわかった。

伊藤 そういうこと話したわね。名古屋にいる人はまだ集まる範囲内にいるとしても、東京、大阪、九州に住んでいる人にとつては機関誌がすべてでしょう。機関誌のほかに、たとえばつどいと合唱団とかもちろん大切だけれど、やはり機関誌中心になっても当然ね。

小出 でも、つどいをやっても一人も来ないんだから、がっかりしちゃった。

浅井 この前のことまだおこってるらしいよ。きょうはその話はやめておこう。それにぼくは「機関誌」という呼び方を改めなければいけないと思う。そのつもりで72号から、タイトル下の「機関誌」というのをやめたんだから。といっても、昔のくせで、いまでもついつい機関誌といってしまう。規約でも「会誌」とうたっているんだよ。

名文「ヴォーカライズと私」

浅井 じゃ、この辺で100号の総まとめをやるよ。まず、一番よく紙面に登場した人たちからー。

鈴木 なんといったって浅井さんだ。

ぐちは別にしても、よく書いている。署名してないのを数えたら、ずいぶんになるね。

浅井 随想関係では、永井君、森本君、横橋君(十二)森野さん(十三)が常連だったし、松沢君(六)中尾君(七)園部さん(現姓高田)(十)鈴木茂君(十二)もメンバーだった。実は、100号でハイライトをやるうと思って、ことし正月の編集委員会で選考したんだ。そのときあげられたのが園部さんの「いとぎき」「ヴォーカライズと私」松沢君の「タヌケル・タヌケス・タヌケム・タヌケ□」だった。「二字判読不能」「ン」か?」そのほかでは、若林君(五)の「招待席とC席」…。

鈴木 「招待席C」のきっかけになったのだね。浅井さん、たくさん書いているのにはいつてないの?

浅井 まさか自分のはね。でも選ぶとすれば、「十四期生におけることば」「神藤さんおめでとう」のうちいずれかということになるかな。もっとも鈴木君が翌年に「十五期生におけることば」を書い

ているんだな。いくらか企画盗用の気配があるよ。

小出 藤野さんの「ロンドン通信」は?

十六回も連載した「東京だより」

浅井 それは、一応連載ものとして区分したわけ。第4報までだったけどね。

ほかに連載では景山さん(現姓加藤)(五)の「東京だより」が十六回(5号~29号)にわたって、山川真継の「ほたる草」が続編を含めて七回のシリーズ(26号~49号)だった。桜井君(十三)の「縁側の猫」は二回(51・52号)でストップした。

小出 山川真継ってだれですか。

浅井 もうずいぶんたっているから発表してもしかられないだろう。実は、松沢君のペンネームなんだ。

伊藤 その「ほたる草」って、評判がよかったのかしら。私は続編のほうしか知らないんだけど。

浅井 そうだね。年間アンケートでは上位にはいつていた。やはり「続」よりは正編のほうがうけたようだ。ただこの「ほたる草」の価値は、Vocalize 100号の歴史のうちでも、フィクションとしては唯一のものというところにあると思う。それだけで十分使命を果たしているんじゃないかな。

やないかな。

鈴木 「東京だより」は本になったんだね、たしか浅井さんがつくったはずだ。

浅井 十二回分までは一冊にまとまっている。結局、十六回で十九の随筆が載ったんだが、その中では「ひとりごと」(20号)をぼくは推したい。

書き手がいないインタビュー

小出 プロファイルが始まったのは?

浅井 最初は単発で五号に景山さんの分が9号から「キャノンシリーズ」と銘打って、永井君の写した写真を加えて五回続いた。そのあと、いまのスタイルになったのが24号からで、こちらは「シックスシリーズ」という名だった。写真は森本君から永井君、いまはその他大ぜいでやっているわけだけど、とにかく24号の安井君(十二)が第1回、39号と83回になるわけだ。

伊藤 永井さんのとった写真がすばらしいわね。写真のおかげでもっていた企画ね。

鈴木 そろそろ一冊にまとめてもいいころだな。もう一度紹介しなおすなんてたいへんだもの。

小出 評判もよく、委員会でもぜひやりたいたいというしながら消えてしまったインタビューは？

浅井 最初は足立さん(六)、25号だった。断続しながら26号までに九回やった。

小出 なぜやめたんですか。

伊藤 書く人がいないからよ。座談会でもやれないんですもの。私、一度テープレコーダーに入れたのをあとでメモしたけれど、とてもたいへん。

浅井 全然インチキなんだ。座談会でもインタビューでも、ぼくが担当しないと載らないんだ。そのくせ、やろうやろうというんだからいやになっちゃう。

鈴木 加藤さん夫妻のときからやはり永井さんの写真がついたね。

浅井 そうだね。いつも聞き手を決めておいて、ぼくが記者、永井君がカメラと、三人がかりだった。内幕をバラしちゃうと、ぼくの分(84号)はひどいもんだね。編集長(伊藤さんのこと)が電話してきて、勝手に質問事項を考えて自分でまとめて原稿を送ってくれていうんだ。自分で自分にインタビューするなんて、最初で最後にしたいものだ。(笑い)

小出 そうすると、座談会はずっと前からやっていたことになるんですか。

浅井 招待席Cの第1回・リチャー

ド・タツカーのとき(二号)が最初だね。あと、座談会といっても反省会とか招待席C、AKC発表会というものに限定されているから、回数としてはそんなに多くない。

所期の目標100号にはなったが

小出 いままで出なかった中から、評判のよかったものをあげてください。

浅井 まず特集だろうね。キャンプ、一泊の旅報告記、十周年パーティー関係など、AKC発表会を除いても二十回近くの特集を組んでるんじゃないかな。ぼく個人の好みとしては、そのなかから23号の大阪のつどい報告を第一に取りたい。

鈴木 いまだにヴォーカライズの夢として残っているけれど、26号の「新春の夢」も忘れられないね。

小出 タイトルが変わったのは、たしか28号からでしたね。その辺の事情は？

鈴木 なんとなく変わっちゃったんじゃないかな。森本さんのやってたところ、26号で一度だけ変わったのになったことがある。ぼくは、どちらかというとあま

り変えないほうがいいと思う。やはり看板なんだから。

浅井 逆に、ぼくはそれほど気にしないんだ。ただ、タイトルを変える気力があるのなら、中身ももっとガラッと変えてもいいと思うな。新しい企画はないし、といって原稿そのものも別にふえてはいないし、メンバーが若くなった割には旧態依然だよ。

伊藤 私は100号まではという気でしたからこれが出ればやめてもいいわけだね

浅井 冗談じゃない。もう一年は少なくともやってもらう計算だ。

鈴木 100号を記念して解散というのもいいと思うけど、なんというのかな、ぼくはそこまで決断できない。

伊藤 でも、十周年の例があるでしょう。100号出してまた一休みになるくらいなら…。

浅井 そこで、年よりばかり集まって初めからやり直しになるかな。十人くらいでひっそりやるのなら、いまのぼくだって、やれないことはないから。

鈴木 創刊100号、AKC二十周年にしては、やけに景気の悪い話になっちゃったね。

浅井 二次会で気分直してもしよう。(四月二十八日・今池「鳴門寿司」で)